

名古屋市博物館

年 報

令和 2 年度

No. 44

名古屋市博物館

はじめに

名古屋市博物館は中部地方を代表する歴史系の総合博物館として、尾張の歴史・文化に関わる資料の収集保存、調査研究を行い、また、国内外の優れた文化財を紹介する展覧会を開催し、地域の歴史・文化を見つめ直す機会を提供しています。本書は、当館が令和2年度に実施した事業の概要を報告するものです。

資料の収集、調査研究活動としては、288件653点の資料を収集し、秀吉研究の推進では、『豊臣秀吉文書集』第7巻を発刊しました。「よみがえれ文化財」事業では、積極的な館蔵資料の活用のために、高蔵1号墳出土品の修復・保存処理などを行いました。

展覧会では、企画展1本、共催展1本を開催しました。小学校3年生の社会科授業内容に合わせて、明治時代から現在までの名古屋市のうつりかわりを紹介した企画展「なごやのうつりかわりーうみ・やま・まちのくらしー」、百貨店松坂屋が収集した染織コレクションを中心に「模様」の意味や背景を掘り下げた特別展「模様を着る」の2本です。

常設展「尾張の歴史」では、フリールームにて近年収集したエルモ社の資料を紹介する「エルモ社と小型映画」、テーマ16にて名古屋の土人形師・野田末吉氏の作品などを紹介する「土人形の世界」などを展示替企画として実施しました。

これらに加え、まが玉づくりや昔のおもちゃを体験できる「歴史体験セミナー」などを実施しました。また昨年度までの「くらしのうつりかわり」事業に代わり、小学校授業内容にあわせた「なごやのうつりかわり」事業を新たに実施しました。

博物館の魅力向上に向けた取り組みでは、リニューアルに向けて「名古屋市博物館の魅力向上に係る基本構想」をまとめました。

分館の名古屋市蓬左文庫では、「尾張の百科事典―御秘本『張州雑誌』―」など、1本の特別展と5本の企画展を開催し、学芸員らによる蓬左文庫講座などを実施しました。

名古屋市秀吉清正記念館では、特別陳列「―戦国を駆け抜けた武将― 兼松正吉」のほか、1本のパネル展示、3本の特集展示を開催しました。

令和2年度は、昨年度末から引き続き、新型コロナウイルスが猛威をふるいました。当館は5月31日まで休館を余儀なくされ、特別展、常設展の展示替企画、はくぶつかん講座の一部を中止せざるを得ませんでした。その代わり、常設展の特別企画として「おまたせ！再会博物館」を再開後に企画し、中止した企画内容を展示する機会を設けました。

新型コロナウイルス感染症は今年度になっても収束する気配がありません。当館は引き続き感染症の拡大防止に努めながら従来通りの事業を継続するとともに、新しい生活様式を踏まえた新たな事業を計画していく必要に迫られています。SNSの活用による企画内容の発信はその一環ですが、地域の歴史・文化を市民の皆様に紹介するという使命を今後も全うできるように、あらゆる試みを検討していくつもりです。引き続き皆様のご助力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年8月
名古屋市博物館

目 次

はじめに

事業概要

I 展 示 -----	3
1 常設展 2 企画展 3 特別展	
II 教育・普及 -----	10
1 広報 2 学校連携活動 3 教育普及活動 4 出版物	
III 資 料 -----	13
1 調査 2 収集 3 特別利用 4 資料の貸出 5 収集資料目録	
6 指定・認定文化財一覧（館蔵資料）7 指定・認定文化財一覧（受託資料）	
IV 管理・運営-----	26
1 博物館の魅力向上 2 主な維持補修・施設整備 3 みんなの博物館応援基金	

分 館

I 名古屋市蓬左文庫 -----	27
1 閲覧 2 展示 3 教育普及 4 調査研究 5 出版物 6 特別利用	
7 複写 8 資料点数 9 資料の貸出 10 指定文化財一覧（所蔵資料）	
II 名古屋市秀吉清正記念館 -----	32
1 展示 2 教育普及等 3 特別利用 4 資料の貸出	
5 資料収集状況 6 指定文化財一覧（館蔵資料）	

機 構 -----	34
-----------	----

名古屋市博物館協議会開催状況 -----	36
----------------------	----

予 算 -----	36
-----------	----

名古屋市博物館利用状況 -----	37
1 企画展・共催展 2 常設展 3 月別入場者数	
4 ギャラリー・講堂利用日数 5 年度別入場者数	

出版物案内 -----	41
-------------	----

新型コロナウイルス感染症の影響により、会期が変更になったもの、開催中止になったもの等については※で表記し、変更後の会期などを併記した。

事業概要

I 展示

1 常設展

常設展では旧石器時代から現代までの尾張の歴史を 16 のテーマに分け、約 1,000 点の実物・複製資料により紹介している。愛知県と連携して作成した三河など周辺地域に関連する複製資料も展示し、より広い視点で尾張の歴史を紹介している。

長期間展示できない資料や新収品などはフリールームやテーマ 10 などで、小テーマを設定して展示している。本年度は「絵葉書に見る戦前名古屋の風景」「エルモ社と小型映画」「歌仙絵」などを開催した。

なお、令和 2 年 3 月 25 日から開催予定であったフリールーム「新発見 高蔵遺跡」、テーマ 10 「狐の嫁入り」、テーマ 16 「河水車の龍神唐子」は、感染症拡大防止対策による休館のため開催中止となったが、常設展拡大企画「おまたせ！再会博物館」にて同内容を展示した。

展示解説としては、説明キャプション、写真パネルのほか、ボランティアによる「展示ガイド」などを行っているが、感染症拡大防止対策のため、展示ガイドの活動を制限した。

観覧料 一般 300 円 高大生 200 円

中学生以下無料

観覧者数 16,421 人

(1) フリールームの展示替

「新発見 高蔵遺跡」

会 期 3 月 25 日～5 月 24 日 ※中止

展示意図 弥生時代の大集落、古墳時代の古墳群として知られる熱田区高蔵遺跡を最新の発掘調査とともに紹介。文化財保護室との共催。

展示件数 30 件 79 点

「絵葉書に見る戦前名古屋の風景」

会 期 6 月 2 日～6 月 21 日

展示意図 戦災で失われた名古屋のかつての風景を、絵葉書に遺された写真・絵画によって紹介。

展示件数 30 件 97 点

「エルモ社と小型映画」

会 期 6 月 24 日～8 月 23 日

展示意図 映画を撮ることが一般人にとって困難な時代から小型映画の発展により生活の一部へと変わっていった歴史を、平成 30 年度に受贈したエルモ社のコレクションを中心に紹介。

展示件数 39 件 39 点

「伊勢湾台風 61 年」

会 期 8 月 26 日～10 月 25 日

展示意図 令和元年開催の「特別展 治水・震災・伊勢湾台風」を機に寄贈された新収資料を中心に、遺体処理や防疫作業など、伊勢湾台風の知られざる実像を紹介。

展示件数 15 件 63 点

「中国・日本歴代銅鏡」

会 期 10 月 28 日～12 月 6 日

展示意図 東アジアの青銅鏡について、中国での出現、日本への伝播、両国での消滅まで歴代の銅鏡の変遷を通史的に紹介。

展示件数 96 件 96 点

「江戸時代の墓石」

会 期 12 月 15 日～令和 3 年 2 月 21 日

展示意図 尾張地方の墓石を中心に、江戸時代に造立された墓石の形や刻まれた文字について紹介。

展示件数 11 件 96 点

「天下人と清須」

会 期 令和3年2月23日～3月21日

展示意図 3人の天下人、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の時代に、それぞれの政権が清須という町とどのような関わりを持ったのかを紹介。

展示件数 19件24点

展示件数 19件30点

「中林竹洞・竹溪 粉本資料」

会 期 12月15日～令和3年2月21日

展示意図 中林竹洞、竹溪父子の粉本資料（下絵や模写）を展示し、両者の創作の過程を紹介。

展示件数 12件12点

(2) 近世尾張の文化（テーマ10）の展示替

「狐の嫁入り」

会 期 3月25日～5月24日 ※中止

展示意図 江戸時代において、どのように「狐の嫁入り」が描かれてきたか、狐や鼠が主人公となった物語「嫁入物」の展開もあわせて紹介。

展示件数 8件30点

「豊根村熊谷家の衣装」

会 期 令和3年2月23日～3月21日

展示意図 国指定重要文化財に指定されている愛知県豊根村の民家、熊谷家に伝わる明治から昭和にかけてのさまざまな着物を紹介。

展示件数 7件7点

「歌仙絵」

会 期 6月2日～6月21日

展示意図 歌仙絵の歴史を館蔵品と蓬左文庫所蔵の資料から紹介。

展示件数 11件11点

「描かれた宮宿」

会 期 令和3年3月24日～4月25日

展示意図 名所絵として宮宿がどのように描かれてきたか、そのイメージの傾向と変遷を、歌川広重らの浮世絵等によって紹介。

展示件数 35件41点

「江戸時代の火縄銃」

会 期 6月24日～8月23日

展示意図 江戸時代に競技的な武芸の道具として独自の進化を遂げた火縄銃を、近年の収蔵品を中心に紹介。

展示件数 11件11点

(3) まつり（テーマ16）の展示替

「河水車の龍神唐子」

会 期 3月25日～5月24日 ※中止

展示意図 戦前まで若宮まつりに曳き出されていた山車「河水車」のからくりである龍神唐子人形・龍神太鼓を紹介。

展示件数 2件2点

「阪正臣」

会 期 8月26日～10月25日

展示意図 尾張出身の歌人・書家である阪正臣の業績を著作や作品とともに紹介。

展示件数 17件20点

「頼朝車の大幕」

会 期 6月2日～6月21日

展示意図 6月の第1土日に開催される枇杷島まつりに合わせて、同祭に曳き出される山車「頼朝車」の大幕を紹介。

展示件数 1件2点

「十一屋小出庄兵衛家」

会 期 10月28日～12月6日

展示意図 十一屋小出庄兵衛家の歴史を、尾張藩御用達呉服店としての繁栄から、後身である百貨店「丸栄」の誕生まで紹介。

「写真で見る昭和のまつり」

会 期 6月24日～8月23日
展示意図 近年収集の機会が多い昭和30年代頃の写真資料から、当時の名古屋まつりなどの様子を紹介。
展示件数 4件23点

「紅葉狩車山車模型とサンピン人形」

会 期 8月26日～10月25日
展示意図 毎年10月の第1土日に開催される中村区花車神明社の例大祭に合わせて、同祭に曳き出される山車「紅葉狩車」の模型とからくり人形を紹介。
展示件数 2件2点

「土人形の世界」

会 期 10月28日～12月6日
展示意図 人々が土人形に込めた願いや祈りをテーマに、名古屋最後の土人形師である野田末吉氏の作品など館蔵の土人形を紹介。
展示件数 49件87点

「正月の遊び」

会 期 12月15日～令和3年1月24日
展示意図 小学校1年生の生活科の単元に対応して、正月の遊び、おもちゃを紹介。小学校の冬休み前後には、遊ぶことのできる体験コーナーも設置した(11ページ参照)。
展示件数 16件16点

「ひな人形」

会 期 令和3年1月27日～3月21日
展示意図 3月3日のひな祭りに合わせて、近年収集したひな人形を展示。また、名古屋周辺で見られる菓子「おこしもの」の型も紹介した。
展示件数 3件11点

「古文書で読む東照宮祭」

会 期 令和3年3月24日～4月25日
展示意図 戦前まで名古屋の春の風物詩だった名古屋東照宮祭について、江戸時代の古文書・古記録から当時の様子を紹介した。
展示件数 7件7点

(4) 特別企画

「おまたせ！再会博物館」

会 期 7月18日～8月30日
(開室日数36日)
会 場 特別展示室
主 催 名古屋市博物館
観 覧 料 一 般 300円 高大生 200円
中学生以下無料
観覧者数 2,553人
展示意図 感染症拡大防止対策のため、2月26日に開幕したものの29日には休館を迎えたフリールールの展示企画「浮世絵に見る有松絞店」のほか、休館中に予定していたフリールーム「新発見 高蔵遺跡」、テーマ10「狐の嫁入り」、テーマ16「河水車の龍神唐子」、話題のコーナー「禅林寺文書」、「B29 空襲日誌」をまとめて展示。さらに特別展「ゲーセンミュージアム～この夏、博物館はゲームセンターになります。～」の一部を、番外編として1階ロビーにて展開。あわせて休館中に博物館公式ウェブサイトやFacebook上にて紹介した資料の実物を展示した。来館者に、実物と対面してもらいたいとの思いから「おまたせ！再会博物館」と冠した。
展示件数 77件164点
印 刷 物 ポスターB2・B3判、チラシA4判、作品リスト

(5) 話題のコーナー

「禅林寺文書」

会 期 6月2日～6月21日 ※中止

展示意図 館蔵の禅林寺文書の内、銀閣寺の当初計画地があった位置を示す「恵雲院跡地売券」や、禅林寺の住持・智空甫叔が個人所有の土地を寺に寄進した「甫叔寄進状」などを紹介。

展示件数 1件4点

「時の記念日 100 周年記念「時」を知る」

会 期 6月2日～6月21日

展示意図 時の記念日制定 100 周年にあわせて、時を知る道具の変遷を紹介。

展示件数 10件11点

「色とりどりの玉類」

会 期 7月21日～8月23日

展示意図 歴史体験セミナー「自分だけのまが玉づくり」の実施にあわせて、玉類の種類と、市内の古墳から出土した玉類を遺跡ごとに紹介。

展示件数 34件72点

「籠細工 200 年」

会 期 10月28日～12月6日

展示意図 200 年前の文政 3 年(1820)に清寿院で開催された籠細工の見世物を、その前年に七ツ寺で行われた興行とともに紹介。

展示件数 2件3点

(6) 博物館ボランティアの活動

本年度に活動したボランティア登録人数 85 名

※4月1日～11月末および

令和 3 年 1 月 14 日～2 月末の間、活動休止。

《活動状況》

- ・開館日の 10 時から 15 時まで、常設展ガイドとして活動。毎日 2 人。感染症拡大防止対策として、申込制の随時ガイド（人数・時間制限あり）のみ実施した。

定時ガイド

※中止

随時ガイド実施人数

延 62 名

- ・ワークショップまつりの運営 ※中止
- ・なごやのうつりかわり体験学習室の運営補助

※参加中止

- ・歴史体験セミナーの運営補助

「自分だけのまが玉づくり」

8月22日・23日

「おいしく作ろう おこしもん」

令和 3 年 2 月 20 日（オンライン配信）

※参加中止（2 件とも）

- ・定例総会 4月11日予定 ※中止

- ・定例会 11月28日 1回

- ・勉強会の実施 13回予定 8回

- ・見学会の実施 ※中止

(7) イキイキ博物館

「尾張の歴史」や博物館自体に親しんでもらえるよう各種イベント、ワークショップなどを開催した。

ア ワークショップまつり

日 時 7月25日・26日 10時～15時 ※中止

場 所 常設展示室内

概 要 博物館ボランティアにより、4つのワークショップを開催。

イ ナイトミュージアム

日 時 8月2日 18時30分～20時 ※中止

場 所 常設展示室（入場無料）

概 要 夜の博物館を体感するイベント。

ウ はくぶつかん古書市

日 時 10月10日～10月18日

9時30分～17時

会 場 展示説明室前

概 要 郷土史・歴史書の古書販売を、名古屋古書組合の協力により実施した。

エ 名古屋グランパス

「ありがとう瑞穂写真展」

日 時 10月28日～11月8日

9時30分～17時

会 場 常設展ロビー
主 催 名古屋市博物館、
名古屋グランパスエイト
概 要 令和3年から瑞穂公園陸上競技場の
改修工事が始まるにあたり、名古屋グ
ランパスエイトが、聖地「瑞穂」へ感
謝のメッセージを発信するイベント。
瑞穂スタジアムにおけるグランパス
の歴代写真や J リーグ優勝シャーレ
(レプリカ)などを展示。

オ 名古屋市博物館サポーターMARO の活動

MARO は、名古屋市立大学と名古屋市博物館の
連携により、地域の活性化を目指す名古屋市立
大学の公認団体。平成 20 年以来、当館にて学
生主導の活動を行なっているが、本年度は感染
症拡大防止対策のため、対面イベントを実施し
なかった。かわりに、オンラインにて活動を発
信した。

・ワークショップ

「おうちでできる！染物 - YouTube」

概 要 特別展「模様を着る」にあわせて、
自分たちで染め物を行なう動画を
制作し、11 月 7 日から配信。225 回
視聴（令和 3 年 4 月 30 日現在）。

・ワークショップ

「ダンボールで作る！日本刀 - YouTube」

概 要 常設展テーマ 8 「石原家の刀剣資
料」（12 月 15 日～令和 3 年 2 月 21
日）にあわせて、段ボールで日本刀
を作る動画を制作し、令和 3 年 1 月
22 日より配信。120 回視聴（令和 3
年 4 月 30 日現在）。

・脱出ゲーム

「MARO からの挑戦状 - YouTube」

概 要 博物館公式サイトでの資料紹介等
を参考として謎を解いていくオン
ラインイベントを、令和3年2月13日
から3月3日まで実施。参加者70名、
うち正解者7名。

・オンライン工作展 - LINE

概 要 一般参加者より、テーマ「ぬりえ」
「家紋の消しゴムはんこ」「粘土を
使ったオリジナル埴輪」に沿った作
品の画像を募集し、ブログにて公開。
応募 6 作品。

・MARO 新聞

概 要 学芸員へのインタビュー「コロナ
禍と名古屋市博物館」、「なごやの
うつりかわり」といった記事を掲
載。150 部印刷し、令和 3 年 1 月 13
日に発行した。

2 企 画 展

(1) 企画展「なごやのうつりかわり」

—うみ・やま・まちのくらし—

会 期 令和 3 年 1 月 9 日～3 月 7 日
(開室日数 49 日)

会 場 特別展示室
主 催 名古屋市博物館
特別協力 船の科学館

協 力 「海の学びミュージアムサポート」
(株)国際デザインセンター
観 覧 料 一 般 300 円 高大生 200 円
中学生以下無料

観覧者数 11,858 人
(うち小学校団体 56 校 4,111 人)

展示意図 小学校 3 年生の社会科授業内容に
合わせて、明治時代から現在までの
名古屋市のうつりかわりを、「交通
のうつりかわり」「なごやの広が
り」「なごやの中のいろいろなく
らし」「道具やくらしのうつりかわ
り」の 4 テーマにて紹介。新旧の名
古屋駅、市電と地下鉄、市域の変遷、
テレビ塔建設、沿岸部や丘陵地のく
らし、家電の登場などのテーマか
ら、名古屋市と人々の生活がうつり
かわる様子を紹介。

展示件数 267 件
印 刷 物 図録 A4 判、ポスター B2・B3 判、チ
ラシ A4 判、子どもチラシ、観覧券

関連事業

・体験学習室

企画展「なごやのうつりかわり」と連携し、展示内容の復習・発展的内容を盛り込んだ、4つの体験ブース「せいかつのうつりかわり」「ちょっとむかしのお仕事体験」「空からみる なごやのうつりかわり」「タイムトラベラー@なごや」を部門展示室に設けた(10ページ参照)。

・図書館連携

企画展「なごやのうつりかわり」と連携し、名古屋市立図書館全館で関連書籍の展示を行うとともに、なごや子ども応援文庫「ono ono」の出張展示を常設展受付前で行った。

3 特別展

(1) 特別展「不思議の国のアリス展」

会 期	4月18日～6月14日 ※中止 (開室予定日数 48日)
会 場	特別展示室・部門展示室
主 催	名古屋市博物館、東海テレビ放送、ぴあ、東映
後 援	日本ルイス・キャロル協会、ブルティッシュ・カウンスル
協 力	SCRAP、聖徳大学・聖徳大学短期大学、ヤマトグローバルロジスティクスジャパン、マクミラン社、武蔵野興業
観 覧 料	一般 1,400 円 高大生 1,000 円 小中生 600 円
観覧者数	—
展示意図	日本初公開となる作品も含め、個性豊かな資料の数々で、アリスの物語誕生秘話から、影響を受け生み出され続ける現代作品までを紹介。
展示件数	約 200 点
印 刷 物	図録 A4 判、展覧会オフィシャルブック B5 判、ポスター B1・B2・B3 判、チラシ A4 判、観覧券、開会式招待状

関連事業

・トークイベント

「アリス展×QuizKnock コラボの裏側」
(定員各回 450 名、3,500 円)

4月18日

講師 QuizKnock (伊沢拓司氏、志賀玲太氏)

・展示説明会 (当日先着 100 名)

4月29日 講師 当館学芸員

・ロビーコンサート

5月6日 協力 宗次ホール

・朗読会 (当日先着 100 名)

5月9日、17日

朗読 東海テレビ放送アナウンサー

(2) 特別展「ゲーセンミュージアム～この夏、博物館はゲームセンターになります。～」

会 期	7月18日～9月6日 ※中止 (開室予定日数 43日)
会 場	特別展示室・部門展示室
主 催	名古屋市博物館、中日新聞社、CBC テレビ、テレビ愛知
企画協力	日本ゲーム博物館 (小牧ハイウェイ企画)、ダズ
観 覧 料	一般 1,500 円 高大生 900 円 小中生 500 円
観覧者数	—
展示意図	ゲームセンターを遊び場のひとつとして考え、時代を彩ったゲームを、ゲームセンターにまつわる思い出や新聞もあわせて紹介。
展示件数	約 70 件
印 刷 物	ポスター B1・B2・B3 判、チラシ A4 判、観覧券、開会式招待状
関連事業	・トークショー「ゲームセンターあらしの誕生 前と後、そして現在」 8月2日 講師 すがやみつる氏 (マンガ家「ゲームセンターあらし」作者)

(3) 特別展「模様を着る」

会 期 10月10日～12月6日
(開室日数 49 日)

会 場 特別展示室・部門展示室
主 催 名古屋市博物館、毎日新聞社、
日本経済新聞社、テレビ愛知、
エフエム愛知

特別サポーター 小野小町

観 覧 料 一 般 1,300 円 高大生 900 円
小中生 500 円

観覧者数 11,721 人

展示意図 衣服や布地を彩る模様。その模様は伝統を大切に受け継ぎながら、時の流行に刺激され、新しいものが生み出されてきた。本展覧会では、模様の意味を探りながら、そこからみえる人々の暮らしや思いにも迫った。百貨店松坂屋が呉服デザインのために集めた膨大な染織コレクションのなかから館蔵の選りすぐりを紹介。

展示件数 213 件 243 点

印 刷 物 図録、ポスターB1・B2・B3 判、チラシ A4 判、観覧券、展覧会案内状、
出品目録、模様を描くぬりえ用紙

関連事業

- ・模様をつくる一伝統工芸ものづくり講座
(事前応募定員 20 人 材料費 700 円)

11 月 8 日 名古屋友禅 18 人

講師 堀部満久氏

11 月 21 日 名古屋黒紋付染 16 人

講師 中村剛大氏

11 月 28 日 有松・鳴海絞 16 人

講師 久野剛資氏

協力 NPO コンソーシアム有松

- ・展示説明会 (事前応募定員 50 人)

11 月 29 日 佐野尚子 (学芸員) 40 人

- ・ナゴヤファッションコンテスト 2020 受賞
作品及び入賞作品のマネキン展示

期間：10 月 20 日～25 日

- ・クリエイターズショップ「LOOP」出店クリエイター作品のマネキン展示

期間：10 月 28 日～11 月 1 日

(4) 大学パートナーシップ

大学生に博物館の楽しさ、素晴らしさを知ってもらうため、平成 22 年 4 月 1 日より大学パートナーシップ事業を始めた。学生証の提示により展覧会を観覧することができたり、展覧会に合わせて実施される展示説明会に加盟大学の枠を設けたりするなど、大学等と博物館の連携をはかった。

14 法人 21 大学：名古屋市立大学、学校法人菊武学園 (名古屋産業大学・名古屋経営短期大学・菊武ビジネス専門学校・専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院)、名古屋大学、南山大学、愛知大学、愛知淑徳大学、名古屋学院大学、中京大学、学校法人愛知学院大学、学校法人中西学園 (名古屋外国語大学、名古屋学芸大学、名古屋ファッション専門学校、名古屋栄養専門学校、名古屋製菓専門学校)、豊田工業大学、金城学院大学、椙山女学園大学、愛知県立芸術大学

利用者数 1,260 人

Ⅱ 教育・普及

1 広 報

各展覧会に関するプレスリリースやポスター・チラシの配布を幅広く行うとともに、当館の取り組み全般について、ウェブサイトやSNSを活用した直接的な情報発信を積極的に行った。

ウェブサイトアクセス件数	287,966 件
Facebook 投稿数	235 件
Twitter 投稿数 (8月～)	256 件

2 学校連携活動

名古屋市内の小中学校および大学と連携しながら、学校における博物館の活用促進や学生の歴史学習意欲の向上を目的としている。本年度は例年のように「出前歴史セミナー」をはじめとする各種事業を実施したが、年度当初の休館、再開館後の事業中止及び運用方法の変更に伴う参加者数の減少など、新型コロナウイルスの影響が顕著であった。

(1) 出前歴史セミナー

教育委員会と博物館、美術館、科学館等が行っている「その道の達人派遣事業 出前ミュージアム」の一環として実施した事業である。学芸員が小中学校に出向き、実物資料を用いて説明する出前授業である。

○「学区の遺跡博士になろう」

2 校 (5 学級 147 人)

○「名古屋のまつりとからくり人形」

6 校 (13 学級 465 人)

○「合戦における火縄銃」

2 校 (5 学級 141 人)

○「東大寺に行くナラ」

5 校 (12 学級 391 人)

計 15 校 (35 学級 1,144 人)

(2) 歴史に親しむ事業

名古屋市立小中学校の社会科担当教員の協力を得て、小中学生が博物館の展示を見学して効果的に学習できるように、考慮すべき点や館蔵資料の魅力の伝え方、学習方法について意見

を交わした。

本年度は特に、学習指導要領改定に伴い「くらしのうつりかわり」事業を後継する「なごやのうつりかわり」事業について検討した。展示や体験の概要、見学時間や流れについて意見を得ることで、新規事業の枠組みを作ることができた。

(3) なごやのうつりかわり体験事業

小学校 3 年生社会科の学習課程に合わせ、なごやがうつりかわる様子を企画展「なごやのうつりかわり」で見学し、関連事業として体験的に学習できる体験学習室を開室した。学校利用のない土曜・日曜・祝日は、広く市民の利用に供した。

期 間 令和 3 年 1 月 9 日～3 月 7 日

団体利用 平日 9 時 30 分～14 時 45 分

小計 27 日 4,111 人 (56 校)

※154 校中止

一般利用 土日祝 9 時 30 分～16 時 30 分

小計 21 日 4,687 人

計 8,798 人 (引率者 209 人を含む)

(4) 職場体験・職場訪問の受け入れ

中学生・高校生の職場体験・職場訪問の受け入れを行った。

職場体験：1 校 16 人 ※2 校中止

職場訪問：1 校 5 人 ※2 校中止

(5) 博物館実習生の受け入れ

大学における博物館関係科目専攻者・学芸員資格取得予定者の受け入れを行った。

期 間 8 月 20 日・21 日・24 日

延 3 日間 12 校 24 人

※感染症拡大防止対策のため予定より期間を短縮して受け入れ

また大学における博物館関係科目の授業の一環として行われるバックヤード見学を受け入れ、学生を案内した。 2 校 55 人

(6) 団体観覧

団体観覧は、一般団体をはじめ小中高校生による常設展「尾張の歴史」等の見学と、小学校3年生の「なごやのうつりかわり体験事業」にかかる展覧会見学が主なものである。今年度は感染症拡大により、参加団体・学校数は3団体4校172人となり大きく減少した。

3 教育普及活動

展覧会だけでなく体験型のイベントや講座、外部への学芸員派遣などを通じて、多様な教育の機会を提供するとともに、博物館に親しんでもらえるよう各種事業を実施した。

(1) 歴史体験セミナー

おもに小中学生を対象に、学校休業日（土・日）、夏休み及び冬休みに博物館を利用してもらうために、楽しみながら学べる体験型プログラムとして実施した。

○「むかしのおもちゃで遊ぼう！」 ※中止

けん玉・人形など、少し昔のおもちゃで自由に遊べる体験コーナーを設置。

7月18日～9月6日（予定）

○「自分だけのまが玉づくり」

加工しやすい石（滑石）を使ってまが玉を作るイベントを開催。

8月22日・23日 72人

○「正月のおもちゃ」

双六や福笑いといったお正月に多く見られたおもちゃで自由に遊べる体験コーナーを設置。

12月15日～令和3年1月24日 729人

○「おいしく作ろう おこしもん」 ※中止

ひな祭りにゆかりのある菓子「おこしもん」を作るイベント。感染拡大防止対策により、集合形式での開催の代わりにおこしもんの解説資料や作り方の動画を配信した。

(2) はくぶつかん講座

今年度は、感染症拡大防止対策にかかる影響により、6月の回までは講座を中止した。9月からは事前申込制とし、定員を100人から50人に変えて再開した。

第1回 4月25日 「高蔵遺跡の歴史と最新の調査成果」 ※中止

学芸課長 瀬川貴文・眞鍋直子（文化財保護室）

第2回 5月30日 「歌仙絵」 ※中止

学芸員 藤田紗樹

第3回 6月6日 「時の記念日100周年記念
「時」を知る」 ※中止

小林修二（名古屋市科学館）

第4回 6月20日 「尾張の武士さまざま」 ※中止

会計年度任用職員 桐原千文

第5回 9月26日 「写真で見る伊勢湾台風」
学芸員 鈴木雅 39人/定員50人

第6回 10月31日 「新発見の中国・呉の銅鏡」

学芸員 藤井康隆 47人/定員50人

第7回 12月19日 「江戸時代のお墓事情」
学芸員 西澤光希 44人/定員50人

第8回 令和3年2月13日 「戦前の名古屋と近郊の風景」

学芸員 加藤和俊 43人/定員50人

第9回 令和3年2月27日 「天下人と清須」

学芸員 岡村弘子 47人/定員50人

第10回 令和3年3月6日 「石器の話」

会計年度任用職員 川合 剛 40人/定員50人
計260人

(3) 派遣依頼対応

他の研究機関、自治体及び団体等で実施される講演会等について、依頼に基づき当館学芸員を派遣した。

○7月5日 NPO 法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク にわ里カレッジ講師 鈴木雅

○8月22日 NPO 法人コンソーシアム有松トークショー講師 津田卓子

○9月9日 岐阜市立加納中学校 総合学習講師 長谷川洋一

○10月11日 浜松市美術館 講演会講師 津田卓子

- 10月13日 相山女学園大学 博物館実習講師 岡村弘子
- 11月8日 和歌山県立紀伊風土記の丘 シンポジウム講師 藤井康隆
- 令和3年3月19日 尾張旭市文化財保護審議会委員 桐原千文
- 通年 東京大学史料編纂所附属画像資料解析センター共同研究員 津田卓子
- 通年 西尾市教育委員会 西尾市史調査員 横尾拓真

計9件（内1件は委嘱のみ）

(4) 友の会

令和3年3月末現在の正会員数は83人、家族会員6人、総計89人であった。

本年度は感染症拡大防止対策のため、多くの事業が中止となったことから、年会費を返還することを役員会で決定した。

事業については、特別展・企画展に合わせた「広報モニター会」を全4回開催予定であったが、感染症拡大防止対策のため2回の開催となった。春と秋に開催予定であった館外見学会も中止した。

また、役員の成り手不足や会員の減少により持続可能な運営が困難となる恐れがある等の事由から、本年度をもって友の会を解散することを9月6日に臨時総会を開催し、承認され決定した。

令和3年3月13日の総会で、連絡事項等の報告を行った。令和3年3月31日をもち、友の会は解散となった。令和3年4月1日からは、友の会の会員特典や事業内容を引き継ぐサポーター制度が発足する。

○館外見学会

5月23日「古典文学ゆかりの地をたずねて」
見学場所 石山寺、園城寺、近江神宮

※中止

10月28日「徳川家ゆかりの地をめぐる旅」
見学場所 刈谷市歴史博物館、大樹寺、滝山寺

※中止

○広報モニター会

特別展 「不思議の国のアリス展」

4月26日 ※中止

特別展 「ゲーセンミュージアム」

7月22日 ※中止

特別展 「模様を着る」

10月21日 13人(2人)

企画展 「なごやのうつりかわり」

1月10日 9人(1人)

* () 内は会員の同伴者

4 出版物

(展覧会に関する印刷物は展示の項に記載)

○「名古屋市博物館だより」(年2回発行)

No. 230 A4変形判 6頁 3,800部(無料)

川合剛「粕畑貝塚のサヌカイト製石器から」

白井裕香「七尾天神社と土人形『亀乗り天神』」

藤田紗樹「古田織部 竹茶杓 銘『城泉州様参』」

No. 231 A4変形判 6頁 3,800部(無料)

横尾拓真「新収資料『蓬瀛勝会』」

鈴木雅「中條勇次郎の八角合長掛時計」

瀬川貴文「館蔵品から見る朝日遺跡」

○「名古屋市博物館年報」No. 43(令和元年度)

博物館公式ウェブサイトに掲載

○「名古屋市博物館研究紀要」第44巻

A4判 96頁 700部 700円(税込)

藤田紗樹「近世前期における白描物語絵制作の一樣相

一名名古屋市博物館蔵『白描源氏物語画帖』

と『伊勢物語手鑑』の制作をめぐる一」

桐原千文「資料紹介 長谷川敬家資料について(2)」

小西恒典「稲永遊廊移転疑獄について」

藤井康隆「南京博物院にみる中国大型博物館の特色」

瀬川貴文「歴史系博物館における『基本的運営方針』

策定・公表の現状」

川合剛「春日井市大泉寺町周辺採集の石器について」

○「年間行事予定」 A3判 30,000枚(無料)

○猿猴庵の本 第27回配本『画本開帳談話』

A4判 110頁 1,500部(有料)

武藤真「リモートで楽しむ、江戸時代の開帳体験」

Ⅲ 資 料

1 調 査

(1) 資料情報

本年度に市内外から寄せられた資料に関する情報は、下表のように計 98 件であった。令和元年度から 35 件減少した。感染症拡大防止対策により、2 月 29 日から 5 月 31 日まで休館となり、緊急事態宣言中（愛知県は 4 月 16 日から 5 月 14 日）は資料情報の調査も中止した。その後も接触・訪問を避ける社会状況があり、減少したと考えられる。資料の分野としては、例年通り民俗分野が多く、企画展「なごやのうつりかわり」も関係して、近現代資料の情報が多く寄せられた。

資料情報件数		件 数
地域別	市 内	64 件
	市 外	19 件
	不 明	15 件
	計	98 件
分野別 (重複含)	考 古	8 件
	美術工芸	31 件
	文書典籍	15 件
	民 俗	50 件

(2) 調査研究

ア「秀吉研究の推進」

この研究の目的は、全国に多数存在する豊臣秀吉の文書の情報を集積し、編年により翻刻掲載した『豊臣秀吉文書集』を刊行することにある。平成 25 年度に当該分野の研究者による同文書集の編集委員会を発足させ、平成 26 年度 1 月に第 1 巻を発刊した。以後毎年 1 巻ずつ刊行している。

本年度は第 7 巻の発刊および第 8 巻の編集作業に関して計 2 回の編集会議を行った。7 巻には文禄 5 年から慶長 3 年までの発給文書を収録し、これで現段階での編年済文書を完結させた。8 巻は補遺と年末詳文書を収録予定で、最終的な編年確認作業が課題である。これに関して一部の委員による集中審議を 1 回行った。

この他、東京大学史料編纂所などでの調査を行い、文書情報の収集につとめた。

イ「猿猴庵の本の出版」

尾張藩士・高力猿猴庵が、祭り・見世物・開帳などを記録した絵入り本を原寸大カラー写真で掲載、翻刻・解説を付けて、博物館資料叢書として継続的に出版している。本年度は、第 27 回目の配本として『画本開帳談話』を発刊した。（詳細は 12 ページ出版物を参照）

ウ「住吉如慶・具慶のやまと絵制作に関する研究

—王朝文学を題材とした作品を中心に—

本研究はメトロポリタン東洋美術研究センターの東洋美術研究振興基金より助成を受けたものである。江戸時代前期に活躍したやまと絵師・住吉如慶と具慶父子とその周辺作を調査し、特に源氏絵について、住吉派の独自の特徴とその図様の広がりについて分析を行った。成果の一部は『名古屋市博物館研究紀要』44 巻に掲載している。（詳細は 12 ページ出版物を参照）

2 収 集

(1) 資料収集方針

考古・美術工芸・文書典籍・民俗の各分野において基本方針と目標を定め、資料の収集を行った。

ア 考古分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の考古に関する資料

日本考古学上基準となる資料

〔目標〕

○名古屋を中心とする地域の個人コレクションの収集

○各時代・時期に当地域が属した「文化圏」内で出土したことが明らかな資料の収集

○出土地域に関わらず、以下の諸点において、当地域との関連が深いと認められる資料の収集

○資料自体が当地方の生産品であることが明らかな資料

○資料自体が当地方の属した「文化圏」の影響を受けている、あるいは当地方の属した「文化圏」に影響を及ぼしていることが明らかな資料

イ 美術工芸分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の美術工芸に関する資料
日本美術全体の流れの上で基準となる資料

〔目標〕

- 名古屋を中心とする地域の画家および俳人の
書画の収集
- 同上地域の武将の肖像画や合戦図などに関連
する資料の収集
- 同上地域の武器・武具の収集
- 同上地域の寺社で保有する文化財の一括収集
- 陶磁器・金工・七宝・漆工芸・染織については、
年紀銘、作者銘を有するもの、時代様式を端的
に備えるもの等、基準資料たりえるものの収集
- 彫刻については、全国レベルでみての重要資料
の収集
- 著名なコレクションで散逸の恐れがある資料
の収集

ウ 文書典籍分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の歴史に関する資料
日本史全体の流れの上で基準となる資料

〔目標〕

- 尾張の町方・村方文書など、一括資料の収集(尾
張以外の尾張藩領を含む)
- 尾張関係の典籍の収集(尾張の出版物・尾張に
関する人物の著作など)
- 名古屋市街図・地籍図の収集(尾張以外の尾張
藩領の図を含み、広域図の場合は優品で価値の
高い資料)
- 尾張に関する文書・記録、および尾張に関係す
る人物の文書・記録などの収集
- 尾張に所在した歴史的価値が高い資料の収集
- 地域にこだわらず、古文書学上、基準的様式を
具備する各時代の基本的文書の収集
- 地域にこだわらず、書誌学上、重要な典籍類の
収集(代表的な出版物・写本など)
- 著名なコレクションで散逸の恐れがある資料
の収集

エ 民俗分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の民俗に関する資料
日本民俗全体の上で基準となる資料

〔目標〕

- 名古屋を中心とする地域の民俗芸能用具な
らびに儀礼・信仰関係用具の収集
- 民俗事象を表す写真・映像・音源などの収集
- 地域的な特色を示す衣・食・住に関する資料
の積極的な収集
- 名古屋を中心とする地域の災害関係資料の
収集
- 商業に関する資料の体系的な収集
- 機械化されていない諸職用具の収集(製品見
本、製作工程見本の製作依頼を含む)
- 農具・養蚕具・製紙用具・亜炭採掘用具・漁
具については館蔵品の補完的収集
- 絞りにについては、海外のものも含む重点的な
収集
- 名古屋を中心とする地域の遊戯具・玩具・食
玩の収集(製作依頼を含む)
- 明治以降の産業資料のうち、時計、バイオリ
ン、企業が製造した製造機械の収集

(2) 収集資料の概要

本年度は、受贈と購入により、288 件 653 点
の資料を収集した。これにより収集資料の累計
は、24,735 件 274,379 点 となった。

また本年度は、新規受託は行わず、旧来の 5
件 5 点の受託を解除した。

ア 考古分野

考古分野では 1 件 1 点の資料を受贈した。

直口壺は寄贈者の祖父による収集品。卵型の
体部にやや開いた口縁を持つ土師器の壺であ
る。体部側面には全周をめぐる粗い波状文と、
線刻による鹿のような文様が 1 匹分認められ
る。施文は焼成前とみられる。出土地につい
ては情報が全くないが、内部の調整などから布留
遺跡(奈良県天理市)を標識とする布留式の影
響を受けた西日本の製品とみられる。動物の線
刻を持つ土器は当館では所蔵しておらず、今後
の研究対象としても興味深い資料である。

イ 美術工芸分野

美術工芸分野では 33 件 34 点の資料を受贈し
た。

分類番号 238・246 の作品計 5 件 5 点は、501

服部家資料とともに受贈したもので、名古屋や東海地方にゆかりの人物の作品である。文書資料とともに江戸後期から明治に至る名古屋の文化を示す好資料である。

また、浮世絵を 23 件 23 点受贈した。梅翁軒永春の作品は、当館に所蔵の少ない初期浮世絵作品であり貴重である。葛飾北岱および歌川国芳、月岡芳年による作品は、当館の尾崎久弥コレクションや高木繁コレクションなどの浮世絵資料を補完するもので活用が見込まれる。

そのほか市内個人より幕末期の甲冑や馬具など 5 件 6 点を受贈した。寄贈者の家は尾張藩士の家系と伝わり、幕末の実用的な武装として貴重な資料である。

ウ 文書典籍分野

文書典籍分野では、26 件 45 点の資料を受贈した。また、美術品等取得基金所管の動産から 2 件 2 点を購入（移管）し、博物館予算により 3 件 5 点を直接購入した。

購入資料の「尾張名古屋埋枿之図（大幸橋から伝馬橋区間）」は、28 年度に基金購入した同図 2 巻「大幸橋以北」「伝馬橋以南」の欠落した中間部分を補い幅下水道のほぼ全区間の管理図面が完結した。「春日井郡玉野村絵図」は、天保 12 年（1841）藩による領内各村からの村絵図徴収に際し作製された控図で正本にはない独自の情報が貴重である。「尾陽（名陽）熊手図絵」は、これまで知られていない初出の資料で、尾張徳川家の年始の諸儀式、名古屋の名所、遊郭、皇女和宮降嫁行列など幕末の名古屋を 200 頁におよぶ彩色の挿絵で描いた資料であり、多彩な活用が期待される。

受贈資料は、鳴海村の有力家下郷家の分家・笹印下郷善右衛門家をはじめ藩士も含め城下商人や地域の名家・有力家に伝わった江戸から明治に至る一括資料の寄贈が相次いだ。また横井也有自筆の発句と書、井上士朗が立ち寄った豪農に残した発句竹聯に加え、幕末から明治に活躍した学者、文化人の和歌懐紙・色紙など尾張ゆかりの文化人の作品がさらに加わることとなった。

エ 民俗分野

民俗分野では 222 件 565 点の資料を受贈した。

古時計の研究家である戸田如彦氏が約 50 年にわたり収集してきた古時計コレクションを受贈した。コレクションは、名古屋ゆかりの古時計や時計にまつわる文化、流通に関する資料などからなる。なかには、名古屋の時計製造の先駆者である中條勇次郎製造のものをはじめ、明治期の名古屋周辺地域で製造された希少価値の高い時計も含まれている。これらは近代名古屋の産業を物語る資料として貴重である。

また今年度には、名古屋市の様子の変遷をテーマにした企画展「なごやのうつりかわり」が行われたこともあり、昭和 20 年以降から平成にかけての生活道具を多く収集した。生活環境の変化を物語る資料として、家電製品は今後も収集対象となっていくだろう。

(3) 「よみがえれ文化財」事業

当館が所蔵する資料の中には、劣化などのため、そのままでは展示・活用できない資料がある。そうした資料を後世に伝え、活用していくための修復などを目的として基金をつくり、市民の寄附を募り、事業を行った。

○対象とする主な事業

- ・博物館資料（写真資料等）のデジタル化
- ・博物館資料（金属等）の保存処理
- ・博物館資料（絵画・文書等）の修復
- ・博物館資料（刀剣等）の研ぎ
- ・博物館資料の展示具の製作

上記のほか、資料の修復・保存・活用などを目的とする。

○本年度に実施した事業

- ・山地英樹氏撮影屋根神写真資料フィルムの保存処理、デジタル化
- ・高蔵 1 号墳出土品の修復・保存処理

○本年度寄附実績

17 件 512,001 円

○寄附者（公開に同意の方のみ、受付順、敬称略）

岡田 泰拓（ほか 16 名）

【令和2年度名古屋市博物館資料収集状況】

令和2.4.1～令和3.3.31							総合計（令和3.3.31現在）					
	受 贈		購 入		計		受 贈		購 入		計	
	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点
0 総 集	1	1	-	-	1	1	57	125	156	206	213	331
1 考 古	1	1	-	-	1	1	2,891	123,004	283	1,717	3,174	124,721
2 絵 画 3 彫 刻 4 工 芸	33	34	-	-	33	34	2,428	14,267	875	1,312	3,303	15,579
5 文 献	26	45	5*	7*	31	52	7,219	67,676	2,042	18,268	9,261	85,944
6 生 活 7 生 産 8 民 族	222	565	-	-	222	565	8,485	46,460	270	1,216	8,755	47,676
9 自 然	-	-	-	-	-	-	29	128	-	-	29	128
計	283	646	5	7	288	653	21,109	251,660	3,626	22,719	24,735	274,379

*基金からの買い戻し(基金による購入資料は買い戻して移管したときに計上する。)

3 特 別 利 用

	熟覧	模写	模造	拓本	原板使用			撮 影			合計
					(1)	(2)	小 計	(1)	(2)	小 計	
利用申請 件数	16 件	0 件	0 件	0 件	97 件	27 件	124 件	8 件	1 件	9 件	149 件
資料件点 数	101 件 102 点	0 件 0 点	0 件 0 点	0 件 0 点	221 件 221 点	72 件 145 点	293 件 366 点	10 件 11 点	1 件 100 点	11 件 111 点	405 件 579 点

(1) 出版物、テレビ放送などへの掲載(使用)目的 (2) 調査研究目的

4 資料の貸出

新型コロナウイルス感染症の流行により、展覧会の中止・会期変更が数件見られた。

貸出期間	貸出先(会場)	貸出目的(展覧会名・会期)	おもな貸出資料
5月27日～ 9月16日	瀬戸市文化振興財団 (瀬戸蔵ミュージアム)	新出土品展 本地大塚古墳 一矢田川流域の古墳と埴輪 6月6日～9月13日	脚付七連蓋坏 はじめ 7件19点
6月20日～ 11月30日	山口県立美術館 あべのハルカス美術館 読売新聞社	巡回展 奇才 一江戸絵画の冒険者たち ①7月7日～8月30日 ②9月12日～11月8日	若竹鶴鶴図屏風 はじめ 3件3点
7月25日～ 10月11日	みよし市立歴史民俗 資料館	下り松古窯と西三河の古代瓦 8月8日～9月27日	軒丸瓦片 (舞木廃寺出土資料のうち) 1件2点
8月21日～ 12月1日	岐阜市歴史博物館	NHK 大河ドラマ特別展 麒麟がくる 9月18日～11月3日	長篠合戦図屏風 はじめ 4件4点
9月11日～ 12月14日	名古屋市文化財保護 室(体感!しだみ古墳 群ミュージアム)	古墳時代の朝日遺跡 9月24日～12月13日	朝日遺跡出土資料 750点の うち 1件11点

9月25日～ 12月25日	瀬戸市文化振興財団 (会場:愛知県陶磁美術館)	磁器生産の成立と展開 —江戸後期の瀬戸窯と美濃窯— 10月17日～12月6日	瓶子 はじめ 2件3点
10月17日～ 12月17日	亀岡市文化資料館	丹波決戦と本能寺の変 10月24日～12月13日	維任(明智)光秀書状 はじめ 3件3点
10月19日～ 12月18日	東京国立博物館	桃山—天下人の100年 11月3日～11月29日	洛中洛外図屏風 1件1点(寄託品)
10月5日～ 令和3年1月8日	中之島香雪美術館	特別展 聖徳太子 10月31日～12月13日	聖徳太子絵伝 はじめ2件2点(寄託品)
11月1日～ 令和3年1月26日	豊川市桜ヶ丘ミュージアム	特別展 いにしへの響き 11月14日～令和3年1月11日	神獣七鈴鏡 羽根古墳出土 はじめ3件3点(寄託品含)
12月15日～ 令和3年3月19日	名古屋市文化財保護 室(体感!しだみ古墳 群ミュージアム)	庄内川流域の古墳群 笹が根古墳群 12月22日～令和3年3月14日	笹ヶ根2号墳出土資料 1件24点
令和3年1月12日 ～4月24日	豊田市郷土資料館	渡邊半蔵家—徳川を支えた忠義の槍 令和3年1月30日～4月11日	陣笠 はじめ9件9点
令和3年3月17日 ～6月10日	名古屋市科学館	ノーベル賞受賞100年記念 アインシュタイン展 令和3年3月20日～6月6日	アインシュタイン来朝記念絵葉書 はじめ2件2点
令和3年3月24日 ～6月9日	中日新聞名古屋本社 郡山市立美術館	挑む浮世絵 国芳から芳年へ 令和3年4月24日～6月6日	通俗水滸伝豪傑百八人之一 人花和尚魯知深初音魯達 はじめ152件285点
合計	貸出先件数 14件		貸出資料総件点数 191件371点

※感染症拡大防止対策のため会期変更

貸出期間(予定)	貸出先(会場)	貸出目的(展覧会名・会期)	おもな貸出資料
4月4日 ～6月21日	刈谷市歴史博物館	歴史へのいざない —佐藤コレクションの魅力— 4月25日～6月7日 ⇒令和3年4月24日～6月6日	豊臣秀吉像 はじめ23件27点
5月1日 ～8月31日	静岡市美術館	東海道の旅、駿河への旅 6月6日～7月19日 ⇒令和5年2月11日～3月26日	東街便覧図略 はじめ14件18点
7月10日 ～9月4日	刈谷市歴史博物館	戦時下の刈谷—一人々の暮らしと記憶— 7月18日～8月30日 ⇒令和3年7月17日～8月29日	標語「欲しがりません勝つまでは」 はじめ11件11点

※感染症拡大防止対策のため中止

貸出期間	貸出先(会場)	貸出目的(展覧会名・会期)	おもな貸出資料
4月7日 ～6月26日	三重県総合博物館	名所発見、再発見！ ～浮世絵でめぐる三重の魅力～ 4月18日～6月14日	伊勢参宮図屏風 1件1点
4月1日 ～7月12日	大阪歴史博物館	NHK 大河ドラマ特別展 麒麟がくる 4月25日～6月14日	連歌懐紙「賦何人連歌」 はじめ3件3点

5 収集資料目録

(1) 受贈資料一覧(分類順)

分類	資料名	点数	時代
023	筑波山下美人向かい風図	1枚	近代
104	直口壺	1点	古墳時代前期
227	梅ヶ枝図	1枚	江戸時代後期
238	雨中茅屋図	1幅	江戸時代後期
238	雨中郭公図	1幅	江戸時代後期
242	太夫禿道中図	1枚	江戸時代中期
243	東海道五十三対 桑名	1枚	江戸時代後期
243	荷宝蔵壁のむだ書	1枚	江戸時代後期
243	楠正行京軍の発向を見て	1枚	江戸時代後期
243	東山桜荘子	1枚	江戸時代後期
243	偽一休和尚説法之図	1枚	江戸時代後期
243	江戸時代むらさき	1枚	江戸時代後期
246	波に千鳥図	1幅	江戸時代中期
246	竹に月自画賛	1幅	江戸時代後期
246	茄子画賛	1幅	江戸時代後期
271	月百姿 吉野山夜半月 伊賀局	1枚	明治
271	月百姿 いつくしまの月 室遊女	1枚	明治
271	月百姿 山木館の月 景廉	1枚	明治
271	月百姿 世尊寺の月 少将義孝	1枚	明治
271	月百姿 月明林下美人来	1枚	明治
271	月百姿 貞観殿の月 源経基	1枚	明治

271	月百姿 田毎ある月にも…	1枚	明治
271	つき百姿 しはるまの暁月	1枚	明治
271	つき百姿 やすらはて寝なましもの を 小夜ふけてかたふく 迄の月を見しかな	1枚	明治
271	つきの百姿 花山寺の月	1枚	明治
271	風俗三十二相 うるささう	1枚	明治
271	風俗三十二相 あつたかさう	1枚	明治
271	東京自慢十二ヶ月 六月 入谷の朝顔	1枚	明治
271	新形三十六怪撰 老婆鬼腕を持去る	1枚	明治
271	新形三十六怪撰 茂林寺文福茶釜	1枚	明治
491	烏帽子形兜	1点	江戸時代後期
491	喉輪	1点	江戸時代後期
491	半頬(喉輪)	1点	江戸時代後期
492	片喰紋鞍	1背	江戸時代後期
492	燕透鍔	1双	江戸時代後期
501	十一屋資料	1括 207点	江戸時代後期 ～昭和前期
501	藤屋伊藤家資料	1括	江戸時代 ～昭和前期
501	笹印下郷善右衛門家資料	1括	江戸時代～昭和

501	春日井郡中志段味村野田 實家資料	1 括	江戸時代～昭和 前期
501	服部家資料	1 括	江戸時代～近代
501	尾張藩士箕浦家資料	1 括	江戸時代～明治
540	名古屋市都市計画関係資 料	1 括	昭和後期
554	平針木遣音頭唄詞集	1 冊	近代
562	第弐高速集切	1 幅	鎌倉時代 ～室町時代
563	和歌懷紙「から衣…」	1 幅	江戸時代後期
563	和歌懷紙「冬日詠閑路時 雨」	1 幅	江戸時代後期
563	和歌懷紙「たき物の…」	1 幅	江戸時代後期
564	井上士朗発句竹聯	1 枚	江戸時代後期
565	和歌色紙「老後見月」	1 幅	江戸時代後期
566	横井也有発句書幅	10 幅	江戸時代中期
572	千種区のご案内	1 点	昭和後期
572	名古屋市街全図	1 点	昭和後期
585	オリンピック東京大会新 聞紙	1 括	昭和後期
593	下之一色関係写真資料	10 冊	昭和後期～平成
593	中島・西中島地区航空写 真	2 点	昭和後期
595	名古屋花壇絵葉書	1 組	昭和前期
595	中村公園絵葉書	1 組	大正～昭和前期
595	絵葉書	1 括	大正～昭和前期
596	名古屋市博物館 常設展 招待券	1 枚	昭和後期
597	エルモ社広報誌	1 括	昭和後期～平成
598	昭和 40 年頃のチラシ	1 括	昭和後期
600	脇田夫妻収集民俗資料コ レクション 8	23 点	昭和後期～平成
602	小出家生活資料	54 点	昭和
602	小出家生活資料 2	1 括	昭和
602	中村小学校標準服	1 組	昭和後期
602	簪	1 点	昭和後期
602	はたき	1 点	昭和後期

602	かるた	2 組	昭和後期
602	タミーちゃん人形	1 式	昭和後期
602	積み木	2 組	昭和後期
602	おもちゃ箱	1 括	昭和後期
602	ままごとの道具	1 括	昭和後期
602	ピンボールゲーム	1 点	昭和後期
602	人生ゲーム	1 点	昭和後期
602	野球盤	1 点	昭和後期
602	水着	1 組	昭和後期
602	知恵つなぎ	1 式	昭和後期
602	SONY ラジカセ	1 点	昭和後期
602	学習机と椅子	1 組	昭和後期
602	学級委員バッヂ	1 点	昭和後期
602	ハーモニカ	5 点	昭和後期
602	鍵盤ハーモニカ	1 点	昭和後期
602	リコーダー	3 点	昭和後期
602	謄写版	1 式	昭和後期
602	中村小学校 PTA 会報	1 括	昭和後期
602	豊正中学校体育館兼講堂 竣工記念資料	1 括	昭和後期
602	ホットカーラー	1 式	昭和後期
602	豊正中学校だより	1 括	昭和後期
602	中村小学校修学旅行しお り	1 点	昭和後期
602	中村小学校野外生活のし おり	1 点	昭和後期
602	社会見学関連資料	1 括	昭和後期
602	中村小学校プール開設時 の写真	1 点	昭和後期
602	豊正中学校稲武・山の生 活しおり	1 点	昭和後期
602	中村高等学校修学旅行し おり	1 点	昭和後期
602	筆箱	1 点	昭和後期
602	下敷き	1 点	昭和後期
602	サブバックとして使用し たカバン	1 点	昭和後期
602	レンジ	1 点	昭和後期
602	クレヨン	1 式	昭和後期

602	迎え火、送り火の木材	1 括	昭和後期
602	嫁入り道具目録	1 点	昭和後期
602	家庭防火のしおり	1 点	昭和後期
602	地下鉄関係資料	1 式	昭和後期
602	市バス乗車券	1 式	昭和後期
602	テレビ	1 点	昭和後期
602	電気冷蔵庫	1 点	昭和後期
602	電気保温ジャー	1 点	昭和後期
602	衝立	1 点	昭和
602	電気ストーブ	1 点	昭和後期
602	落とし紙入れ	1 点	昭和
614	頭巾	2 点	昭和前期
617	ガラス瓶	1 点	昭和
619	編み機	1 点	昭和後期
624	重箱	1 式	昭和
624	電子レンジ	1 点	昭和後期
625	桶	1 点	昭和
627	飯櫃	1 点	昭和
627	しょう油さし	2 点	昭和
633	椅子	2 点	昭和後期
634	ベビーベッド	1 点	昭和
635	ストーブ	1 点	昭和後期
635	豆炭行火	1 点	昭和後期
635	湯たんぽ	1 点	昭和後期
636	水桶	2 点	昭和
643	大四日市まつり手ぬぐい	1 点	平成
645	ダッコちゃん人形	1 点	昭和後期
645	もじあそび	1 式	昭和後期
645	ヨーヨー	1 点	昭和後期
646	小田井愛三郎旧蔵能楽資料	1 括	大正～昭和
646	バット	1 点	昭和後期
648	カメラ	1 台	昭和後期
648	引き伸ばし機	1 台	昭和後期
648	イーゼルマスク	3 枚	昭和後期
648	フェロ板	3 枚	昭和後期
648	露光計	1 枚	昭和後期
648	暗室電球	1 式	昭和後期
648	フェロ板拭き	1 個	昭和後期
648	スポンジ	1 個	昭和後期

648	水切剤	1 点	昭和後期
648	現像剤	2 点	昭和後期
648	定着剤	1 点	昭和後期
648	計量カップ	1 個	昭和後期
648	バット	12 個	昭和後期
648	ピンセット	6 個	昭和後期
648	ネガキャリア	3 点	昭和後期
648	複写印画紙	3 パック	昭和後期
648	レコード	1 点	昭和後期
648	カメラ	3 点	昭和後期
649	レコード盤「モスラの歌 インファントの娘」	1 枚	昭和後期
651	地球儀	1 点	昭和後期
651	成績表等	1 括	大正～昭和
651	岩石見本	1 式	昭和
651	鐘	1 点	昭和後期
652	国語漢文参考図録	1 冊	昭和前期
652	愛知県郷土篇	1 冊	昭和前期
652	新式中等裁縫 巻二・四	2 点	昭和前期
654	タイプライター	2 点	昭和後期
654	ランドセル	1 点	昭和後期
655	菓箱	3 点	昭和後期
655	体温計	1 点	昭和
655	無病健全簡易療法秘伝	1 点	昭和前期
655	家庭宝鑑実験薬草	1 点	昭和後期
657	戸田如彦収集古時計コレクション		江戸時代後期 ～昭和後期
657	八角合長掛時計	1 点	明治
657	電気置時計	1 点	19 世紀後期 ～20 世紀初頭
657	置時計	1 点	19 世紀後期
657	地球儀時計	1 点	明治
657	花籠時計	1 点	明治
657	広告時計	1 点	大正
657	盾型掛時計	1 点	明治～大正
657	タバコ盆時計	1 点	大正
657	スリゲル型掛時計	1 点	大正
657	四ツ丸掛時計	1 点	明治
657	八角尾長掛時計	1 点	明治
657	八角合長掛時計	1 点	明治

657	八角尾長掛時計	1 点	明治
657	八角尾長掛時計	1 点	明治
657	八角尾長掛時計	1 点	明治
657	磁祖加藤民吉銅像建設記念置時計	1 点	昭和前期
657	八角合長掛時計	1 点	明治
657	水滴	1 点	明治
657	水滴	1 点	明治
657	水滴	1 点	明治
657	水滴	1 点	明治
657	水滴	1 点	明治
657	丸尾長掛時計	1 点	明治
657	水滴	1 点	明治
657	水滴	1 点	明治
657	水滴	1 点	明治
657	銅版スタンプ	13 点	大正～昭和前期
657	八角尾長掛時計	1 点	明治
657	八角尾長掛時計	1 点	明治
657	八角尾長掛時計	1 点	大正～昭和前期
657	八角合長掛時計	1 点	明治
657	八角合長掛時計	1 点	明治
657	八角尾長掛時計	1 点	明治
657	トーマス型掛時計	1 点	明治
657	トーマス型掛時計	1 点	明治
657	八角合長掛時計	1 点	明治
657	四ツ丸掛時計	1 点	明治
657	商品録	1 点	明治
657	尋常小学読書教本 巻五	1 点	明治
657	普通読本 三編下	1 点	明治
657	普通読本 四編上	1 点	明治
657	高等小学 新理科 巻一	1 点	明治
657	時計と美人	1 点	昭和後期
657	八角合長掛時計	1 点	明治
657	シュヴァルツ・バルトの時計行商人	1 点	昭和後期
657	正写 仏蘭西人	1 点	江戸時代後期
657	正月用引札	1 点	明治
657	内国勸業博覧会 第二博覧会	1 点	明治
657	時計番付	1 点	明治

657	慶応二年大小暦	1 点	江戸時代後期
657	国会貴族議員銘鑑	1 点	明治
657	東風俗 美人之音楽	1 点	明治
657	懷中時計イミテーション	1 点	明治
657	服部時計店定価表	1 点	明治
657	八角合長掛時計	1 点	明治
657	領収証	2 点	明治
657	時計保険証	1 点	明治
657	四ツ丸掛時計	1 点	明治
657	置時計	1 点	19 世紀後期
657	掛時計	1 点	明治～昭和前期
659	身長計	1 台	昭和後期
659	体重計	1 台	昭和後期
659	皿秤	1 点	明治
666	絵馬	1 点	昭和
667	宝船引換券及び宝船版画	54 枚	昭和後期
672	雛人形	1 組	明治
673	五月人形	1 式	昭和後期
673	五月人形	2 組	昭和後期
686	御清め塩	1 点	令和
693	8mm フィルム「伊勢湾台風」	1 巻	昭和後期
693	伊勢湾台風被害写真	144 枚	昭和後期
693	伊勢湾台風作文集	1 綴	昭和後期
693	罹災証明書	1 枚	昭和後期
695	勅諭等写	16 点	大正～昭和前期
695	愛国婦人会襷	1 点	昭和前期
697	手袋	1 点	昭和前期
697	75 mm砲弾	1 点	昭和前期
697	寄せ書き日章旗	4 点	昭和前期
697	壮行用日章旗	1 点	昭和前期
697	千人針	1 点	昭和前期
697	寄せ書き	1 点	昭和前期
697	支那事変 戦跡の葉	4 点	昭和前期
697	鉢巻 付電車定期券 5 枚	1 点	昭和前期
697	特殊郵便受領証	2 点	昭和前期
697	プロペラ	1 点	昭和前期
697	鉄帽（ヘルメット）	1 点	昭和前期
697	略帽（戦闘帽）	1 点	昭和前期
697	三菱大江工場関係資料	1 件	昭和前期

716	八百屋籠	1 点	昭和
750	ぬい福関係資料	1 括	大正～昭和
760	小出履物店関係資料	6 点	大正～昭和
760	小出履物店関係資料 2	1 括	昭和
760	下駄	1 点	昭和
760	鼻緒	1 括	昭和
760	足袋	1 括	昭和
760	算盤	1 点	大正
760	籠	1 点	大正～昭和
760	和傘	1 点	大正

760	小川版画堂資料	1 括	昭和～平成
762	桶底板定規	6 点	昭和
762	仮輪付桶	3 点	昭和
762	ねじたが製造機	1 点	昭和
762	桶製造関係資料	1 括	大正～昭和
766	飯櫃	2 点	昭和
775	配達袋	1 括	昭和
783	自転車用鑑札	1 点	昭和
783	鑑札	1 点	昭和
789	ラジオ	2 点	昭和後期

(2) 購入資料一覧

基金動産からの移管資料

分類	資 料 名	点数	時 代
525	与謝蕪村書状	1 幅	江戸時代中期 安永 7 年(1778)
500	松山コレクション	1 括	江戸時代～昭和後期

*収集件点数としては美術等取得基金動産からの移管時に計上する。

新規購入資料

分類	資 料 名	点数	時 代
525	尾張名古屋埋枿之図	1 巻	江戸時代後期
573	春日井郡玉野村絵図	1 枚	江戸時代後期 天保 12 年(1841)
552	尾陽（名陽）熊手図絵	3 冊	江戸時代後期 万延元年（1861） ～文久 2 年（1864）頃

*本年度は美術品等取得基金を介さず、直接購入した。

6 指定・認定文化財一覧（館蔵資料）

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	秋草鶉図屏風	1 双	江戸時代
2	工芸	魚波文瓶子	1 口	鎌倉時代 瀬戸灰釉
3	書	三宝絵	1 帖	平安時代 源為憲撰 保安元年(1120) 書写奥書
4	工芸	太刀 銘「国泰」	1 口	鎌倉時代 肥後国延寿派国泰作
5	工芸	太刀 銘「行平作」	1 口	鎌倉時代 豊後国行平作
6	工芸	太刀 銘「雲生」	1 口	鎌倉時代 備前国宇甘派雲生作
7	工芸	黒楽茶碗「時雨」	1 口	江戸時代 本阿弥光悦作

【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	袈裟襷文銅鐸	1 基	弥生時代 伝滋賀県出土
2	工芸	三角縁神獸鏡	1 面	古墳時代前期 奈良県都祁村白石光伝寺裏山古墳出土
3	書	広義門院所領处分状	1 幅	南北朝時代 貞和 5 年(1349)9 月 15 日付 光厳上皇筆
4	工芸	阿弥陀三尊懸仏	1 面	室町時代
5	絵	豊泉密竹図	1 幅	江戸時代後期 山本梅逸筆
6	書	千載和歌集断簡	1 幅	平安時代後期 日野切
7	考古	瓦製光背片	1 点	平安時代後期 三重県伊勢市小町経塚出土
8	工芸	太刀 銘「備前国住雲次」	1 口	鎌倉時代 備前国宇甘派雲次作
9	工芸	太刀 銘「景安」	1 口	鎌倉時代 備前国景安作
10	工芸	太刀 折返銘「吉綱」	1 口	鎌倉時代 備前国吉綱作
11	工芸	刀 無銘	1 口	鎌倉時代 伝包永
12	工芸	刀 無銘	1 口	南北朝時代 伝左
13	工芸	壺形土器 蓋有	2 点	弥生時代前期 名古屋市北区西志賀町遺跡出土
14	工芸	鳥形鈕蓋付高脚埴	1 口	古墳時代後期 伝名古屋市瑞穂区師長町出土
15	書	豊臣秀吉書状	1 幅	桃山時代 おとら宛

【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	魚波文四耳壺	1 口	鎌倉時代後期 瀬戸灰釉 岐阜県出土
2	絵	四季花鳥図屏風	1 双	江戸時代後期 山本梅逸筆
3	考古	短甲	1 領	古墳時代後期 伝岡崎市出土 25 点付属
4	考古	三角縁神獸鏡・六神鏡	2 面	古墳時代前期 東海市兜山古墳出土
5	考古	壺	1 口	弥生時代中期 岩倉市大地遺跡出土
6	考古	壺	1 口	弥生時代前期 丹羽郡大口町西浦遺跡出土
7	絵	相応寺旧蔵襖絵	12 面	江戸時代初期
8	絵	築城図屏風	1 隻	安土桃山時代
9	絵	楽々園四季真景図巻	1 巻	江戸時代後期 宋紫岡筆
10	絵	山水図押絵貼屏風	1 双	江戸時代後期 中林竹洞筆
11	歴史	尾張藩領産物帳	20 冊	江戸時代中期
12	工芸	三尊来迎繡仏	1 幅	南北朝時代 弘浄寺伝来

【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	有形民俗文化財	荒子西の畑屋敷馬道具	1 式	江戸時代後期～昭和前期
2	有形民俗文化財	荒子西屋敷馬標及馬道具	1 式	明治～昭和前期
3	歴史	横井也有関係資料	128 点	江戸時代
4	工芸	裁断橋擬宝珠	4 基	江戸時代前期
5	考古	大須二子山古墳出土品	16 点	古墳時代
6	有形民俗文化財	高橋家伝来医薬器具	一括	江戸時代中期～末期
7	絵	徳川宗春戯画賛	1 幅	江戸時代中期
8	絵	伊勢参宮図屏風	1 隻	江戸時代前期

7 指定・認定文化財一覧（受託資料）

【国宝】

	種別	資料名	数量	時代など
1	書	古事記	3 帖	南北朝時代 宝生院所蔵
2	書	漢書食貨志第四	1 巻	奈良時代 宝生院所蔵
3	書	瑠玉集	2 巻	奈良時代 宝生院所蔵

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	過去現在絵因果経	1 巻	平安時代 聖徳寺所蔵
2	書	七寺一切経	100 帖	平安時代 七寺所蔵
		唐櫃	1 合	
3	絵	騎馬武者像	1 幅	室町時代 地藏院所蔵
4	書	無住道暁筆文書	3 幅	鎌倉時代 六祖偈・置文・夢想記 長母寺所蔵
5	絵	四季山水図屏風	1 双	室町時代 真宗大谷派名古屋別院所蔵
6	書	樵隱悟逸墨蹟	1 幅	中国元時代 友山士思宛
7	書	寸松庵色紙	3 点	平安時代
8	考古	袈裟褌文銅鐸	1 基	弥生時代 福井県坂井市春江町井向出土
9	絵	千手観音二十八部衆像	1 幅	鎌倉時代 護国院所蔵
10	絵	聖宝像	1 幅	南北朝時代 林昌院所蔵
11	工芸	短刀 銘了戒	1 口	鎌倉時代 了戒作
12	絵	二河白道図	1 幅	鎌倉時代 蓮光寺所蔵
13	彫刻	地藏菩薩立像 像内納入品	一括	鎌倉時代 西光寺所蔵
14	彫刻	愛染明王坐像(像内に合子入愛染明王坐像を納める)	1 軀	鎌倉時代 甚目寺所蔵

【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	細形銅剣	1 口	弥生時代 名古屋市守山区上志段味上島出土
2	工芸	七鈴鏡	1 面	古墳時代後期 名古屋市守山区羽根古墳出土
3	工芸	経塚関係資料	8 点	平安時代後期 大御堂寺所蔵
4	工芸	太刀 無銘 附拵	1 口	伝来国光
5	工芸	魚形土器	1 点	弥生時代後期 名古屋市南区桜田貝塚出土
6	工芸	インス茶碗	1 口	江戸時代前期

【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	織田又六画像	1 幅	安土桃山時代 善光寺別院願王寺所蔵
2	考古	壺	1 口	弥生時代 北名古屋市伝馬塚出土
3	絵	花鳥図	双幅	中国画 明眼院所蔵
4	絵	花鳥図	1 幅	中国画 明眼院所蔵
5	絵	風神雷神図	双幅	江戸時代 狩野常信筆 明眼院所蔵
6	絵	円窓山水図屏風	1 隻	江戸時代 明眼院所蔵
7	工芸	糸柶蒔絵茶箱	1 合	江戸時代 明眼院所蔵
8	工芸	茶壺	1 口	中国製 14～16 世紀 明眼院所蔵
9	工芸	金剛鈴杵	1 口	明眼院所蔵
10	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1 対	室町時代 伊勝八幡宮所蔵
11	絵	弁財天像	1 幅	鎌倉時代 乾坤院所蔵
12	絵	諸尊集会図	1 幅	鎌倉時代 乾坤院所蔵
13	書	正法眼蔵	15 冊	室町時代 乾坤院所蔵
14	絵	田中訥言画蹟	3 点	江戸時代後期 釈迦院所蔵 郭公の図他
15	書	『因明三十三過記』紙背文書	24 通	鎌倉時代 宝生院所蔵
16	絵	円光大師画像	1 幅	南北朝時代 祐福寺所蔵
17	絵	遣迎二尊画像	1 幅	南北朝時代 祐福寺所蔵
18	工芸	古萩茶碗	1 合	江戸時代 明眼院所蔵
19	彫刻	如来形立像	1 軀	奈良時代 祐福寺所蔵
20	書	石山切	1 幅	平安時代 貫之集下断簡
21	絵	渡辺崋山手録	3 冊	江戸時代後期 渡辺崋山筆

【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	梵鐘	1 口	江戸時代前期 水野太郎左衛門鑄造 性高院所蔵
2	絵	地藏菩薩画像	1 幅	南北朝時代 地藏寺所蔵
3	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1 個	室町時代 伊勝八幡宮所蔵

【他市町村指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	愛西市指定文化財	太刀 銘「從備前尾州来兼光…」	1 口	江戸時代 安政 3 年(1856) 鵜多須区所蔵
2	清須市指定文化財	泰亨車山車関係資料	78 点	清須市西枇杷島町東六軒町町内会所蔵
3	東郷町指定文化財	書留帳	3 冊	江戸時代 祐福寺所蔵
4	東郷町指定文化財	祐福寺縁起	2 卷	江戸時代 祐福寺所蔵
5	東郷町指定文化財	帝鑑の図	1 隻	江戸時代 祐福寺所蔵
6	東郷町指定文化財	雲版	1 口	室町時代 正長 2 年(1429) 祐福寺所蔵
7	清須市指定文化財	西枇杷島問屋町頼朝車関係資料	7 点	問屋町町内会所蔵
8	東郷町指定文化財	阿弥陀三尊来迎図	3 幅	南北朝時代 祐福寺所蔵 小三尊
9	東郷町指定文化財	当麻曼荼羅	1 幅	南北朝時代 祐福寺所蔵
10	東郷町指定文化財	不動明王像	1 幅	室町時代 祐福寺所蔵

IV 管理・運営

1 博物館の魅力向上

(1) 事業の目的、効果

当館は開館後 40 年以上経過し、施設の機能更新の時期を迎えていることから、こうした機会を捉え、時代に即した名古屋市博物館に生まれ変わり、市民や来訪者により親しまれる名古屋市博物館となるための魅力向上に取り組んでいるところである。令和 2 年度には当館の魅力向上に向けた基本構想の検討を行った。

(2) 事業の経過

令和元年 6 月 28 日

「名古屋市博物館の魅力向上調査業務委託」入札後資格確認型一般競争入札を公告。

7 月 17 日

「名古屋市博物館の魅力向上調査業務委託」の契約を締結。

魅力向上調査業務委託業者

株式会社 乃村工藝社

令和 2 年 3 月 24 日

「名古屋市博物館の魅力向上に係る基本構想策定等業務委託」公募型プロポーザルを公告。

3 月 31 日

「名古屋市博物館の魅力向上調査業務委託 基礎調査・検討報告書」成果物を受領。

5 月 21 日

「名古屋市博物館の魅力向上に係る基本構想策定等業務委託」の契約を締結。

魅力向上に係る基本構想策定等業務委託業者

株式会社 丹青社

令和 3 年 3 月 24 日

「名古屋市博物館の魅力向上に係る基本構想」成果物を受領。

2 主な維持補修・施設整備

(1) トイレの洋式化及び機能向上に伴う改修

(2) 博物館の空調機更新工事

(3) 博物館の除湿器更新工事

(4) 博物館のコンクリート組立塀撤去及びフェンス新設工事

3 みんなの博物館応援基金

当館において開催する事業の充実や設備・備品更新をすることで施設の魅力をアピールするため、市民の寄附を募るとともに当館窓口で行える募金を呼びかけた。

(1) 本年度の活用実績

公用車のリース

(2) みんなの博物館応援事業寄附金

本年度寄附実績

14 件 575,181 円

分 館

I 名古屋市蓬左文庫

1 閲 覧

尾張徳川家の旧蔵書を中心に和漢の優れた古典籍、古地図、絵図などを所蔵する公開文庫として、蔵書を閲覧に供した。

閲覧日数 224 日

閲覧室総利用者数 981 人

閲覧冊数 862 件(7,828)冊
(市内 459 人 県内 258 人 県外 145 人)

参考質問 205 件

2 展 示

尾張徳川家の伝来品等により、近世武家文化の魅力を世界に向けて発信するため、徳川美術館と連携した展示を行った。

(1) 特別展

観覧料 一 般 1,400 円 高大生 700 円
小中生 500 円
徳川美術館との共通料金

ア 春季特別展「家康から義直へ ー尾張藩誕生物語ー」

会 期 4 月 12 日～5 月 31 日 ※中止
会 場 蓬左文庫展示室、徳川美術館本館
主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、
中日新聞社、日本経済新聞社
観覧者数 一人
展示意図 天下統一を果たした徳川家康と、泰平の世に尾張国統治を任された家康の息子義直。二人の生涯、そして、義直の家康への思いを、遺品や史料から読み解く。
展示件数 一件

イ 秋季特別展「殿さまが好んだヨーロッパ ー異国へのまなざしー」

会 期 9 月 20 日～11 月 3 日
(開室日数 38 日)

主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、
中日新聞社、日本経済新聞社
観覧者数 11,672 人
展示意図 御三家筆頭の尾張徳川家に伝来した日本と西洋を関連づける品々は、国内でも珍しい作品を数多く含んでいる重要なコレクションである。このコレクションを、他家伝来品等と併せて一堂に紹介した。
会 場 蓬左文庫展示室、徳川美術館本館
展示件数 156 件
印 刷 物 ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

(2) 企画展

観覧料 一 般 400 円 (1,400 円)
(イは 1,200 円)
高大生 300 円 (700 円)
小中生 200 円 (500 円)
()は徳川美術館との共通料金

ア「祈りのこころー尾張徳川家の仏教美術ー」

会 期 6 月 6 日～7 月 12 日
(開室日数 32 日)
主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館
入場者数 4,654 人
展示意図 信仰の拠りどころであった経典・仏像・仏画や、供養のために寺院に奉納され、墓所へ埋葬された個人の遺愛品など、尾張徳川家伝来の品を中心に大名家の人々が仏教に寄せた思いを紐解いた。
展示件数 73 件
印 刷 物 ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

イ「怪々奇々ー鬼・妖怪・化け物…ー」

会 期 7 月 18 日～9 月 13 日
(開室日数 50 日)
主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館

観覧者数 12,366 人
展示意図 古典文学に記された怪奇現象や、描かれた幽霊・鬼・妖怪等の世界を紹介。
展示件数 57 件
印刷物 ハンドブック、ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

ウ「読み継がれた源氏物語」

会 期 11 月 8 日～12 月 13 日
(開室日数 31 日)
主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館
観覧者数 12,012 人
展示意図 紫式部が著した『源氏物語』は、千年にわたり読み継がれてきた古典の名作。五島美術館所蔵の国宝「紫式部日記絵巻」を特別公開し、日本が世界に誇る『源氏物語』の文化史をたどりながら、その魅力を紐解いた。
展示件数 50 件
印刷物 図録 A4 判、ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

エ「竹—日本の美—」

会 期 令和 3 年 1 月 5 日～1 月 31 日
(開室日数 24 日)
主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、毎日新聞社
観覧者数 3,185 人
展示意図 日本人にとって最も身近な植物の 1 つである「竹」にまつわる様々な作品から、竹とともに育まれた日本の美意識を探りつつ紹介した。
展示件数 86 件
印刷物 ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

オ「尾張の百科事典—御秘本『張州雑誌』—」

会 期 令和 3 年 2 月 6 日～4 月 4 日
(開室日数 46 日 3 月 31 日まで)
主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館
観覧者数 16,031 人 (3 月 31 日まで)
展示意図 尾張藩で「御秘本」として扱われた地誌『張州雑誌』。本書に描かれた宝

物・動植物・風俗等の色鮮やかな記録画を展示し、江戸時代の尾張の世界を紹介した。

展示件数 78 件
印刷物 図録 A4 判、ハンドブック、ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

3 教育普及

(1) 講演会

10 月 29 日「元禄御畳奉行が歩いた名古屋」
講 師 松村冬樹氏 (元名古屋市博物館学芸員)
62 人
会 場 徳川園ガーデンホール
11 月 26 日「名古屋城下町の町名のうつりかわり」
講 師 種田祐司氏 (名古屋城調査研究員)
60 人
会 場 徳川園ガーデンホール

(2) 企画展講座

令和 3 年 2 月 13 日「張州雑誌とは何ぞや」
講 師 今和泉大 (名古屋市蓬左文庫学芸員)
60 人
会 場 徳川美術館講堂

(3) 企画展講演会

令和 3 年 2 月 28 日「記録画に挑んだ東甫」
講 師 山本祐子氏 (元名古屋市博物館学芸員)
60 人
会 場 徳川美術館講堂

(4) 蓬左文庫古書市

10 月 24 日～11 月 3 日 1,232 人
会 場 蓬左文庫旧書庫
(講座室・エントランスホール)

主 催 名古屋市蓬左文庫
協 力 名古屋古書籍商業協同組合

(5) 連携事業

「雑巡りスタンプラリー」
令和 3 年 2 月 6 日～3 月 7 日

全会場の台紙配布数 2,356 枚

会 場 蓬左文庫エントランスホール他

主 催 文化財名古屋保存活用実行委員会

(名古屋市蓬左文庫・徳川美術館など)

(6) 団体見学等

大学生等の団体を受け入れ、解説を行った。

愛知県立大学、金城学院大学、建国中学高等学校、
同朋大学、名城大学ほか

6 件 57 人

4 調査研究

(1) 『尾張藩の御秘本『張州雑誌』』の発行

企画展開催にあわせて、名古屋市蓬左文庫が所蔵している書物『張州雑誌』を、わかりやすく紹介した図録を発行した。

(2) 名古屋叢書四編『青窓紀聞 卷六～卷九』の発行

尾張名古屋の歴史資料を活字化し、市民の調査研究を支援するため、昭和 34 年から刊行を始めた『名古屋叢書』の四編として、第二冊目となる『青窓紀聞 卷六～卷九』を発行した。

(3) 「蓬左」の発行

蓬左文庫の蔵書や尾張の歴史を市民にわかりやすく紹介するため、広報誌「蓬左」を発行した。

「蓬左」No. 99

- ・蓬左文庫本『日次記』の調査
- ・企画展「怪々奇々ー鬼・妖怪・化け物…」
- ・秋季特別展「殿さまが好んだヨーロッパ」
- ・宿場町・鳴海の祭り今昔（1）
- ・花屋抄

「蓬左」No. 100

- ・令和 2 年度蓬左文庫講演会（講演要旨）
「元禄御疊奉行が歩いた名古屋」
- ・企画展「尾張の百科事典
ー御秘本『張州雑誌』ー」
- ・宿場町・鳴海の祭り今昔（2）
- ・張州雑誌 禽類の図（卷十三）

(4) 共同研究活動

学芸員と大学研究者等をメンバーとする蓬左文庫典籍研究会（平成 29 年 3 月発足）が、蓬左文庫の蔵書研究を行った。

5 出版物

「蓬左」No. 99 A4 判 8 頁 3,500 部（無料）

「蓬左」No. 100 A4 判 8 頁 3,500 部（無料）

「年間行事予定」A4 判 10,000 枚（無料）

「尾張藩の御秘本『張州雑誌』」

A4 判 62 頁 1,000 部（有料）

名古屋叢書四編 2「青窓紀聞 卷六～卷九」

A4 判 162 頁 400 部（有料）

6 特別利用

利用件数 150 件 362 点

原板使用（掲載） 113 件 233 点

原板使用（その他） 28 件 114 点

熟覧 7 件 10 点

撮影 2 件 5 点

7 複 写

334 件（31,214 枚）

8 資料点数

資料総点数 121,512 点

（内訳）

旧蓬左文庫資料 64,845 点

江戸時代から名古屋市移管（昭和 25 年）までに収集された尾張徳川家旧蔵書

名古屋市蓬左文庫収集資料 56,339 点

名古屋市移管以降の収集資料

名古屋市蓬左文庫受託資料 328 点

9 資料の貸出

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名・会期）	おもな貸出資料
7月15日～9月14日	徳川美術館	漆－徳川美術館珠玉の名品－ 7月18日～9月13日	延喜式 はじめ3件6点
9月18日～12月3日	斎宮歴史博物館	斎宮と古代国家 －飛鳥・奈良時代の斎宮を探る－ 10月3日～11月23日	続日本紀 はじめ2件6点
10月6日～11月20日	大和文華館	墨の天地－中国安徽地方の美術－ 10月10日～11月15日	養正図解 はじめ2件6点
10月7日～12月13日	浜松市博物館	浜松城－築城から現代へ－ 10月17日～11月29日	遠州見付城図 はじめ2件2点
10月27日～11月19日	名古屋市政資料館	江戸川乱歩と名古屋 11月1日～11月15日	草稿（メヂューサの首 他 稿） はじめ2件2点
令和3年1月15日 ～4月20日	豊田市郷土資料館	渡邊半蔵家－徳川を支えた忠義の槍－ 1月30日～4月11日	青窓紀聞 1件9点
2月1日～2月15日	名古屋市鶴舞中央図書館	小酒井不木コーナー開設記念展示 2月2日～2月14日	草稿（呪われの家） はじめ2件2点
3月5日～6月1日	神奈川近代文学館	永遠に『新青年』なるもの－ミステリ ー・ファッション・スポーツ－ 3月20日～5月16日	草稿（犯罪文学研究） はじめ5件5点
3月18日～6月7日	岐阜市歴史博物館	壬申の乱 3月26日～5月16日	懷風草 1件1点
合計	貸出先件数 9件		貸出資料件点数 20件39点

10 指定文化財一覧（所蔵資料）

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	書	続日本紀	30巻 付10巻	鎌倉時代 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
2	書	侍中群要	10巻	鎌倉時代 嘉元4年（1306）北条貞顕筆 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
3	書	斉民要術	22巻	鎌倉時代 文永11年（1274）北条実時奥書 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
4	書	源氏物語（河内本） 付 近衛信尹筆者極 古筆了佐筆者目録	23冊 付2巻	鎌倉時代 正嘉2年（1258）奥書 金沢文庫旧蔵
5	書	論語集解	10冊	鎌倉時代 元応2年（1320）奥書
6	書	宋版太平聖恵方	24冊 付29冊	中国宋時代（13世紀）刊 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
7	書	朝鮮版高麗史節要（銅活字本）	35冊	李氏朝鮮 景泰4年（1453）刊

【登録有形文化財(建造物)】

蓬左文庫旧書庫

平成 26 年、黒門・脇長屋など、徳川園内の建造物とともに登録有形文化財(建造物)に登録された。旧書庫は、明治 33 年に建築された旧尾張徳川家大曾根邸の土蔵を、昭和 10 年に移転改築したもので、現在は蓬左文庫エントランスとして使用している。

【ユネスコ世界記憶遺産(世界の記憶)】

朝鮮通信使に関する記録

平成 29 年 10 月、日韓合計 111 件 333 点(日本 48 件 209 点、韓国 63 件 124 点)の「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコの「世界記憶遺産(世界の記憶)」に登録された。この中には蓬左文庫が所蔵する下記資料が含まれている。

朝鮮国三使口占聯句	1 枚	江戸時代・天和 2 年(1682)
甲申韓人來聘記事	1 冊	江戸時代・明和元年(1764)
朝鮮人御饗応七五三膳部之図	1 冊	江戸時代・文化 8 年(1811)
朝鮮人物旗仗輜輿之図	1 巻	江戸時代・19 世紀

Ⅱ 名古屋市秀吉清正記念館

1 展 示

(1) 常設展

豊臣秀吉・加藤清正に焦点を当て、あわせて彼らの生きた時代を概説している。館蔵資料を中心とし、今年度は6回の展示替えを行った。

例年は映像機器も併用しているが、今年度は感染症拡大防止対策のため、休止した。

開室日数 241 日

観 覧 料 無料

観覧者数 17,471 人

(2) 特別陳列 「一戦国を駆け抜けた武将―兼松正吉」

会 期 10月10日～12月13日

(開室日数 55 日)

観 覧 料 無料

観覧者数 5,237 人

展示意図 兼松正吉は、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康らに仕え、また多くの合戦に参加し、功績を重ねていった。その生涯を通じて、尾張の在地武士が乱世を乗り切っていく姿を紹介した。

展示件数 34件

印 刷 物 写真入り目録A4判、チラシA4判、ポスターA2判

(3) 特集展示、パネル展

特別展示室の活用を図るとともに常設展示を補完するため、以下の展示を行った。観覧料無料。

ア パネル展「武将と治水」

会 期 2月26日～7月5日 (開室日数32日)

ただし2月29日～6月1日は臨時休館

観覧者数 1,869人 (6月2日から7月5日まで)

2,131 人 (通期)

展示意図 戦国の城は、川や沼などの自然地形を生かした縄張、井戸や貯水池を設けての水源確保が重視された。秀吉が備中高松城で行った水攻めは、川や雨水

を利用した戦法であった。ここでは水との関わりに焦点を当てて、戦国の城を紹介した。

イ 特集展示「明智光秀と羽柴秀吉」

会 期 7月18日～9月22日

(開室日数 56 日)

観覧者数 4,124 人

展示意図 明智光秀と秀吉は、織田家臣としてどのような位置にいたのか、本能寺の変前後にどう動いたのか、光秀が謀叛を起こした理由についての研究動向を紹介した。

ウ 特集展示「秀吉と清正の絵物語 前編」

会 期 12月23日～令和3年2月21日

(開室日数 46 日)

観覧者数 5,131 人

展示意図 当館蔵の絵画「秀吉と清正の絵物語」に描かれた場面と、史実とを対比した。3回シリーズの第1回目。秀吉の生誕から、山崎の戦いまでを紹介した。

エ 特集展示「秀吉と清正の絵物語 中編」

会 期 令和3年3月13日～5月9日

(開室日数 52 日)

観覧者数 1,243 人 (3月31日まで)

展示意図 当館蔵の絵画「秀吉と清正の絵物語」に描かれた場面と、史実とを対比した。3回シリーズの第2回目。大徳寺葬儀から、小田原攻め・奥羽仕置による天下統一の達成、豊臣秀頼の誕生までを紹介した。

2 教育普及等

(1) 夏休み事業

「夏休み自由研究 戦国武将にクイズで挑戦」

常設展、特集展示を観覧しながら、戦国時代の歴史に親しめるよう、小中学生を対象にクイズラリーを行った。

7月18日～8月16日

175人

(2) 太閤秀吉モニュメント設置の監修

中村区役所との連携事業。平成30年度から継続実施中の「太閤秀吉功路 人生大出世夢街道PR事業」において、太閤秀吉モニュメント制作の監修を行った。今年度は15基目から22基目のモニュメントの制作、設置が完了した。

(3) 謎解き×宝さがし ひょうたんハント

中村区役所との連携事業。中村公園内で謎解きゲームを行い、歴史散策の機会を提供した。

3月15日～4月30日

191人(3月31日まで)

3 特別利用

利用件数 48件

利用資料数

原板使用(掲載) 57件 57点

原板使用(その他) 4件 4点

熟覧 1件 1点

4 資料の貸出

貸出期間	貸出先(会場)	貸出目的(展覧会名・会期)	おもな貸出資料
4月1日 ～7月21日	大阪歴史博物館	「麒麟がくる」 4月25日～6月14日 ※感染症拡大防止対策のため中止	孔雀羽根模様金襴陣羽織 1件 1点
8月21日 ～12月1日	岐阜市歴史博物館	「麒麟がくる」 9月18日～11月3日	色々威二枚胴具足 1件1点
令和3年3月11日 ～6月11日	大阪市立美術館	「豊臣の美術」 令和3年4月3日～5月16日	茶地動植物人物文様刺繍ビロード陣羽織 1件1点
合計	資料貸出先 3件		貸出資料件点数 3件3点

5 資料収集状況

総合計 (令和3.3.31現在)						
	受 贈		購 入		計	
	件	点	件	点	件	点
絵画	32	40	79	120	111	160
工芸	26	26	24	26	50	52
文書典籍	97	330	67	254	164	584
その他	12	27	3	3	15	30
計	167	423	173	403	340	826

6 指定文化財一覧(館蔵資料)

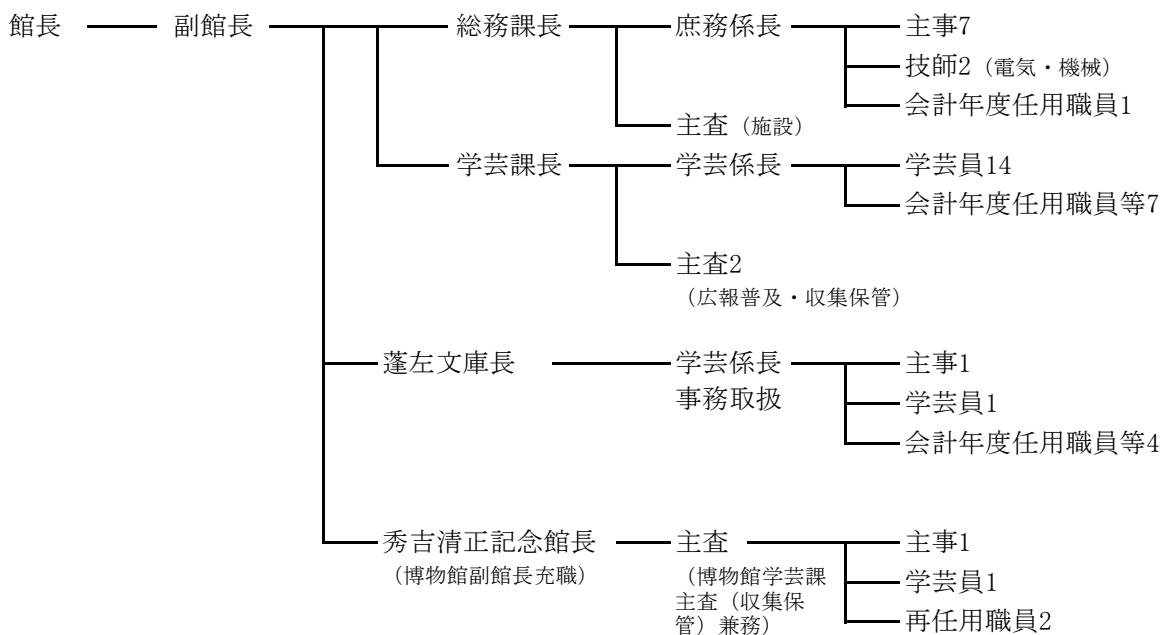
【名古屋市指定文化財】

	種別	資 料 名	数 量	時 代 など
1	歴史	兼松家資料	40点	室町時代後期～江戸時代中期
2	歴史	近江木下家資料	39点	安土時代～江戸時代後期

機 構

○組織

(令和3年3月31日現在)



○博物館職員

館長	三 芳 研二
副館長	山 田 英一
総務課長	加 藤 久
庶務係長	川 口 義宏
主査(施設)	水 野 浩二
主 事	新 家 論子
	金 岡 友香
	稲 垣 ゆみ子
	戸 田 真梨子
	飯 田 聡
	山 本 麻由
	山 内 浩志
技 師	伊 神 敏弘
	倉 橋 和也
会計年度	中 川 剛
学芸課長	瀬 川 貴文
学芸係長	武 藤 真
主査(広報普及)	森 幸江
主査(収集保管)	山 田 伸彦

学芸員	塚 原 明子
	加 藤 和俊
	岡 村 弘子
	藤 井 康隆
	長 谷 川 洋一
	津 田 卓子
	佐 野 尚子
	星 子 桃子
	横 尾 拓真
	鈴 木 雅
	酒 井 康平 (R2. 9. 30退職)
	羽 柴 亜弥
	藤 田 紗樹
	西 澤 光希
再任用	坂 野 利光
	桐 原 千文
	川 合 剛
会計年度	臼 井 裕香
	伊 藤 乃玄
	森 永 耕一 (R2. 12. 31退職)
	白 山 由華子 (R2. 8. 1～)
	與 倉 智大 (R2. 10. 1～)

○蓬左文庫職員

文庫長 橘 弘子
学芸係長事務取扱 橘 弘子
主 事 高木 拓治
学芸員 今和泉 大
再任用 山本 泰雄
酒井 喜代枝
蘆澤 耕二
会計年度 井上 善博

○秀吉清正記念館職員

館長（博物館副館長充職）
山田 英一
主査（博物館学芸課主査（収集保管）兼務）
山田 伸彦
主 事 近藤 良江
学芸員 小西 恒典
再任用 林 典子
坂東 彰

○名古屋市博物館協議会委員（◎会長、●副会長） 順不同

名古屋市立笈瀬中学校長 新田 智子
学校法人金城学院理事 長屋 頼子
名古屋市地域女性団体連絡協議会会計
山田 淑子
徳川美術館長 徳川 義崇
熱田神宮宝物館長 大原 和生
名古屋市立小中学校PTA協議会理事
伊藤 三奈（～R2. 7. 17）
ベンヴェル満世（R2. 7. 18～）
公募委員 安河内 昭彦
日本放送協会名古屋拠点放送局長
島田 敏男（～R2. 7. 17）
田辺 雅泰（R2. 7. 18～）
中日新聞社名古屋本社事業局局次長
西原 健二
●名古屋造形大学教授 池田 洋子
名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長
滝 茂夫
愛知県立大学教授 丸山 裕美子
東朋テクノロジー㈱取締役社長 富田 英之
◎名古屋市博物館資料委員 羽賀 祥二

○名古屋市博物館資料委員 順不同

考 古
名古屋大学文学部・大学院人文学研究科教授
山本 直人
愛知淑徳大学非常勤講師 赤羽 一郎
美術工芸
愛知県銃砲刀剣類登録審査委員 加藤 博司
立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員
源城 政好
桑名市博物館歴史専門官 大塚 由良美
掛川市ステンドグラス美術館長 日比野 秀男
文書・典籍
名古屋大学名誉教授 羽賀 祥二
名古屋大学文学部・大学院人文学研究科教授
塩村 耕
民 俗
日本民俗学会会員 伊藤 良吉
愛知教育大学教育学部教授 野地 恒有

○秀吉文書集編集委員（◎委員長、●副委員長） 順不同

◎名古屋大学名誉教授 三鬼 清一郎
●石川県立歴史博物館長 藤井 譲治
大阪城天守閣主任学芸員 跡部 信
椋山女学園大学名誉教授 加藤 益幹
九州大学比較社会文化研究院教授 中野 等
中京大学文学部教授 播磨 良紀
三重大学教育学部教授 藤田 達生
前京都橘大学非常勤講師 藤田 恒春
東京大学史料編纂所教授 山口 和夫

名古屋市博物館協議会開催状況

日 時	場 所	議 題
第86回定例会 12月28日	書面開催	・令和元年度事業報告について ・令和元年度決算について ・令和2年度事業中間報告について

予 算

○名古屋市博物館

(単位：千円)

展観事業費	普及費	資料費	管理費	魅力向上 基本構想策定
常設展 運営費 7,555	教育普及 費 2,634	調査研 究費 4,530	事務・ 施設管 理費 164,537	委託料 20,000
企画展等 5,134	その他 190	資料購 入費 0		
共催展費 57,812		文化財 修復・ 保存 5,645		
		その他 3,975		
70,501	2,824	14,150	164,537	20,000
合計				272,012

○分 館

蓬左文庫		秀吉清正記念館		総 計 (本館・分館総合計)
展観事業費	管理費	展観事業費	管理費	
62,111	51,674	1,354	14,474	
				401,625

名古屋市博物館利用状況

1 企画展・共催展等

(単位:人)

	有 料										無 料										計				
	個 人				団 体			身体障害者手帳等			個 人					身体障害者手帳等				招待券等		団 体			
	一 般	高 齢 者	高 大 生	小 中 生	一 般	高 齢 者	高 大 生	小 中 生	一 般	高 大 生	小 中 生	一 般	高 齢 者	高 大 生	小 中 生	乳 幼 児	一 般	高 大 生	小 中 生			介 護 者	一 般	高 大 生	小 中 生
I																								0	
II																								0	
III																								2,553	
IV	5,766		222	156	5		30		404	1	3	480		27							4,627				11,721
V	3,296	963	74		1							209	5,265	127			444	4	39	310	1,126				11,858
計	9,062	963	296	156	6	0	30	0	404	1	3	689	5,265	154	0	0	444	4	39	310	5,753	0	0	0	26,132

		開始	終期	日数
I	特別展「不思議の国のアリス展」【中止】	4/18	6/14	-
II	特別展「ゲーセンミュージアム」【中止】	7/18	9/6	-
III	特別企画「おまたせ！再会博物館」	7/18	8/30	36
IV	特別展「模様に着る」	10/10	12/6	49
V	企画展「なごやのうつりかわりーうみ・やま・まちのくらしー」	1/9	3/7	49

*臨時休館 令和2年4月1日～令和2年5月31日(※)

2 常設展

(単位:人)

月	有 料						無 料											団体 件数	計
	個 人			団 体			個 人			身体障害者手帳等			招待券等	団 体					
	一般	高齢者	高大生	一般	高齢者	高大生	一般	高大生	小中生	一般	高大生	介護者		一般	高大生	小中生			
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
6	372	80	17	0	0	0	31	72	108	54	0	27	9	0	0	0	770		
7	640	101	55	0	0	0	59	141	311	85	0	60	17	0	0	0	1,469		
8	944	169	62	0	0	0	84	93	356	95	1	54	12	0	0	0	1,870		
9	524	156	56	0	0	0	30	82	177	67	4	45	9	8	0	13	1,171		
10	698	94	73	0	0	0	54	307	162	52	1	28	242	0	0	0	1,711		
11	970	146	39	0	0	0	112	56	405	48	0	39	512	0	0	0	2,327		
12	358	48	36	1	0	43	48	63	130	28	0	23	188	0	0	5	971		
1	782	155	38	0	0	0	23	52	390	91	4	70	74	4	0	59	1,742		
2	1,131	255	23	0	0	0	34	35	625	125	2	79	157	7	0	131	2,604		
3	753	132	56	0	0	0	14	72	339	72	0	48	144	8	0	148	1,786		
計	7,172	1,336	455	1	0	43	489	973	3,003	717	12	473	1,364	27	0	356	16,421		

3 月別入場者数

(1) 名古屋市博物館

(単位:人)

月	開館 日数	常設展	ビデオ コーナー	触れて みる コーナー	収蔵 品展	特別展 企画展 等	共催展	ギャラリー	講 堂	展示 説明室	体験 学習室	ナイト ミュー ジウム	むかしの おもちゃで 遊ぼう	合 計	累 計
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	24	770	132	374	0	0	0	596	0	0	0	0	0	1,872	1,872
7	26	1,469	152	653	0	883	0	731	24	56	0	0	0	3,968	5,840
8	25	1,870	188	723	0	1,670	0	3,105	47	0	0	0	74	7,677	13,517
9	26	1,171	179	494	0	0	0	3,198	0	39	0	0	0	5,081	18,598
10	26	1,711	209	482	0	0	3,235	5,978	0	47	0	0	0	11,662	30,260
11	25	2,327	318	1,034	0	0	6,036	31,476	117	90	0	0	0	41,398	71,658
12	17	971	121	395	0	0	2,450	4,675	0	44	0	0	131	8,787	80,445
1	23	1,742	266	632	0	4,158	0	720	80	0	3,217	0	598	11,413	91,858
2	24	2,604	291	958	0	5,388	0	3,176	255	90	3,798	0	0	16,560	108,418
3	25	1,786	221	576	0	2,312	0	3,121	338	40	1,771	0	0	10,165	118,583
計	241	16,421	2,077	6,321	0	14,411	11,721	56,776	861	406	8,786	0	803	118,583	

*臨時休館 令和2年12月7日～12月14日(館内点検)
令和2年4月1日～5月31日(※)

(2) 蓬左文庫

(単位:人)

月	展示室 開室日数 (日)	展示室総入 館者数	有料区域分		閲覧室 開室日数 (日)	エントランス総入 館者数	無料区域部分		計	累 計
			展 示 室				閲覧室	エントラ ンスホー ルのみ		
			共通券	単独券						
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	21	3,042	3,030	12	7	756	21	735	3,798	3,798
7	23	4,783	4,747	36	27	802	106	696	5,585	9,383
8	26	5,773	5,714	59	26	747	106	641	6,520	15,903
9	21	6,446	6,414	32	26	1,058	120	938	7,504	23,407
10	27	7,266	7,266	0	27	1,212	151	1,061	8,478	31,885
11	21	9,433	9,417	16	25	1,495	128	1,367	10,928	42,813
12	12	3,961	3,948	13	12	524	47	477	4,485	47,298
1	24	3,185	3,178	7	24	678	74	604	3,863	51,161
2	20	6,169	6,150	19	24	1,317	103	1,214	7,486	58,647
3	26	9,862	9,834	28	26	1,342	125	1,217	11,204	69,851
計	221	59,920	59,698	222	224	9,931	981	8,950	69,851	

*臨時休館 令和2年12月14日～令和3年1月4日(特別整理)
令和2年4月1日～5月31日(展示室)(※)
令和2年4月1日～6月21日(閲覧室)(※)

(3) 秀吉清正記念館

(単位:人)

月	開館日数(日)	入場者数	累 計	備 考
4	0	0	0	
5	0	0	0	
6	24	1,558	1,558	
7	26	1,864	3,422	
8	25	1,844	5,266	
9	26	3,364	8,630	特別陳列-18日(入場者1,530人)
10	20	4,079	12,709	特別陳列-25日(入場者2,473人)
11	25	3,707	16,416	特別陳列-12日(入場者1,234人)
12	23	2,042	18,458	
1	23	1,353	19,811	
2	24	1,696	21,507	
3	25	2,024	23,531	
計	241	23,531		

*臨時休館 令和2年10月3日～10月9日(館内設備点検)
令和2年4月1日～6月1日(※)

4 ギャラリー・講堂利用日数

室名／月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ギャラリー	1	0	0	6	3	14	6	14	19	6	0	9	11	88
	2	0	0	0	0	12	4	0	23	12	4	9	8	72
	3	0	0	0	6	12	4	0	23	12	4	9	14	84
	4	0	0	12	6	12	18	20	24	12	4	13	12	133
	5	0	0	0	6	12	16	10	21	12	4	19	9	109
	6	0	0	0	0	0	0	10	24	6	4	15	5	64
	7	0	0	0	0	0	4	4	18	6	0	0	0	32
	8	0	0	6	6	14	4	10	24	17	4	15	2	102
	屋外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
講堂		0	0	0	1	1	0	0	1.5	1	3.5	2.5	3	13.5
開室日数		0	0	24	26	25	26	26	25	17	22	24	19	234

5 年度別入場者数

(単位:人)

年度	常設展	資 料 学習室	ふれてみ る学習室	部門展	特別展 企画展	共催展	ギャラリー	講 堂					計	累計
52				184,694	17,099	203,569	48,302	4,195					457,859	
53	85,044			34,077	17,642	103,848	332,031	10,881					583,523	1,041,382
54	104,009			40,013	10,514	184,316	307,735	22,609					669,196	1,710,578
55	130,562	38,702		28,301	8,788	177,337	276,578	25,782					686,050	2,396,628
56	73,655	29,284	6,748	14,237	9,106	66,104	273,704	25,421					498,259	2,894,887
57	105,109	47,214	45,188	21,677	9,806	132,369	281,767	22,247					665,377	3,560,264
58	94,941	36,437	35,079	32,026	9,063	121,480	297,097	22,021					648,144	4,208,408
59	86,112	25,419	23,778	16,515	11,986	96,428	394,204	21,852					676,294	4,884,702
60	85,781	41,651	41,935	25,873	9,968	117,928	649,486	22,278					994,900	5,879,602
61	93,251	37,345	38,390	22,224	19,079	149,416	489,186	21,802					870,693	6,750,295
62	101,447	36,485	36,683	16,823	4,597	182,725	388,101	22,372					789,233	7,539,528
63	17,421	16,919	19,322	22,639	8,736	39,544	336,466	20,443					481,490	8,021,018
年度	常設展	ビデオ ミュージアム	ふれてみ る学習室	収蔵品展等	特別展 企画展	共催展	ギャラリー	講 堂	展示 説明室	体験 学習室	ナイト ミュージ アム	むかしの おもちゃで 遊ぼう	計	累計
元	82,336	24,774	22,128	7,687	17,657	161,125	359,028	20,162					694,897	8,715,915
2	69,993	24,795	16,218	4,587	16,561	86,570	340,936	19,230					578,890	9,294,805
3	84,465	31,351	20,711	7,883	40,027	168,556	362,912	23,684					739,589	10,034,394
4	60,601	29,091	19,500	7,399	21,249	86,728	322,388	20,745					567,701	10,602,095
5	72,949	28,573	19,460	10,366	20,165	102,159	363,434	22,956					640,062	11,242,157
6	145,272	46,024	32,257	7,595	22,635	349,128	380,446	25,455					1,008,812	12,250,969
7	83,387	31,717	18,968	0	47,829	160,360	346,948	25,544					714,753	12,965,722
8	95,118	30,912	19,504	11,014	20,539	178,565	416,896	17,552					790,100	13,755,822
9	122,665	36,084	20,061	9,045	16,027	298,052	404,502	24,897					931,333	14,687,155
10	70,970	23,553	11,393	5,433	21,127	164,503	337,974	20,380					655,333	15,342,488
11	52,972	19,836	11,612	5,520	24,470	74,815	315,838	18,734					523,797	15,866,285
12	150,760	32,849	23,405	9,365	18,827	308,229	324,538	18,651					886,624	16,752,909
13	66,376	17,491	8,581	13,592	9,260	134,976	309,714	16,267					576,257	17,329,166
14	56,137	15,185	7,038	32,608	14,874	74,848	283,883	17,713					502,286	17,831,452
15	56,609	12,661	5,928	35,332	16,539	58,023	281,581	12,185					478,858	18,310,310
16	61,536	13,478	11,680	3,883	15,104	119,227	213,778	9,509					448,195	18,758,505
17	82,856	14,285	15,083	5,703	43,756	159,078	239,336	8,484					568,581	19,327,086
18	40,746	11,631	11,526	5,309	38,370	39,189	209,861	6,639					363,271	19,690,357
19	98,783	10,475	13,083	0	11,871	153,825	244,570	5,869					538,476	20,228,833
20	68,419	9,397	11,943	16,403	9,362	87,638	235,367	6,132	3,492				448,153	20,676,986
21	90,214	8,432	12,978	0	16,515	124,384	221,495	8,162	1,233				483,413	21,160,399
22	70,825	6,774	7,983	49,367	7,361	141,400	220,437	7,990	1,289				513,426	21,673,825
23	68,383	4,318	7,669	0	0	111,551	177,111	6,481	2,620	22,251			400,384	22,074,209
24	63,990	6,358	7,099	0	9,640	288,131	167,310	11,222	2,384	21,536	1,786	9,558	589,014	22,663,223
25	68,916	8,596	13,504	0	2,970	132,235	187,082	8,543	2,447	17,953	1,700	12,156	456,102	23,119,325
26	65,515	5,749	14,329	0	3,818	130,075	164,412	5,920	6,229	22,835	943	6,693	426,518	23,545,843
27	69,076	3,207	14,428	4,576	19,025	123,741	158,886	7,511	2,049	22,251	1,256	11,544	437,550	23,983,393
28	70,294	6,905	14,742	0	8,142	139,512	170,943	7,841	6,639	22,455	1,372	6,405	455,250	24,438,643
29	81,784	4,202	13,150	0	0	238,137	170,290	6,230	2,550	23,184	561	7,887	547,975	24,986,618
30	58,372	3,192	10,166	0	4,752	105,671	162,903	6,087	2,074	21,927	851	2,643	378,638	25,365,256
元	63,587	2,742	10,838	0	18,952	218,977	134,681	6,172	3,404	21,136	715	7,568	488,772	25,854,028
2	16,421	2,077	6,321	0	14,411	11,721	56,776	861	406	8,786	0	803	118,583	25,972,611
計	3,387,659	836,170	700,409	711,766	688,219	6,306,193	12,360,913	665,711	36,816	204,314	9,184	65,257	25,972,611	

※「ふれてみる学習室」は、平成16年度から「触れてみるコーナー」、「ビデオミュージアム」は平成22年から「ビデオコーナー」

※「収蔵品展等」の欄は、平成元年度から22年度については収蔵品展の、27年度については「東日本大震災復興と名古屋」展の入場者数。

出版 物 案 内

(令和3年3月31日 現在)

出 版 物 名	刊行年	販売価格
博物館資料叢書3 猿猴庵の本		
(第2回配本) 画誌卯之花笠	2001 年	1,200 円
(第3回配本) 新卑姑射文庫	2002 年	1,200 円
(第4回配本) 絵本清洲川・続梵天錦	2002 年	1,200 円
(第5回配本) 新卑姑射文庫 二編	2002 年	1,200 円
(第6回配本) 新卑姑射文庫 三編	2003 年	1,200 円
(第7回配本) 北斎大画即書細図・女謡曲採要集	2004 年	1,200 円
(第8回配本) 御鋏祭真景図略 一	2004 年	1,200 円
(第9回配本) 御鋏祭真景図略 二	2005 年	1,200 円
(第10回配本) 笠寺出現宝塔絵詞伝	2005 年	1,200 円
(第11回配本) 東街便覧図略 巻二	2005 年	1,200 円
(第12回配本) 御船御行列之図・桜見与春之日置・絵本江崎之春	2006 年	1,200 円
(第13回配本) 泉涌寺霊宝拝見図・嵯峨霊仏開帳志	2006 年	1,200 円
(第14回配本) 絵本駱駝具誌	2007 年	1,200 円
(第15回配本) 御鋏祭真景図略 三	2008 年	1,200 円
(第16回配本) 萱津道場参詣記	2008 年	1,200 円
(第17回配本) 東街便覧図略 巻三	2010 年	1,200 円
(第18回配本) 絵本音聞山	2011 年	1,200 円
(第19回配本) 絵本上雲雀	2012 年	1,200 円
(第20回配本) 東街便覧図略 巻四	2014 年	1,200 円
(第21回配本) 張州勝藍開帳集	2015 年	1,200 円
(第22回配本) 東街便覧図略 巻五	2016 年	1,200 円
(第23回配本) 東街便覧図略 巻六	2017 年	1,200 円
(第24回配本) 東街便覧図略 巻七	2018 年	1,200 円
(第25回配本) 東街便覧図略 巻一(改訂版)	2019 年	1,200 円
(第26回配本) 安永洪水図	2020 年	1,200 円
(第27回配本) 画本開帳談話	2021 年	1,200 円
展覧会図録等		
【常設展】「尾張の歴史」ガイドブック	2003 年	700 円
『特別展』柳宗悦 生誕百年記念	1988 年	800 円
『特別展』日本の物語絵	1988 年	800 円
『特別展』日本の美と匠	1992 年	1,000 円
『特別展』東海百観音名宝展	1993 年	1,200 円
(企画展) れきしどうぶつえん	1995 年	300 円
『特別展』新博物館態勢	1995 年	500 円
『特別展』ウィーンの歴史と芸術	1997 年	2,300 円
『特別展』妙法院と三十三間堂	1999 年	1,000 円
(企画展) 中林竹溪	1999 年	500 円
(企画展) おもしろやきもの展 ハンドブック	2000 年	400 円
『特別展』北の民 アイヌの世界	2000 年	1,000 円
(企画展) 無病息災 一病を克服する知恵と祈りー	2001 年	700 円
『特別展』19世紀ウィーンへの旅	2003 年	2,500 円
(企画展) 富士見の里 昔の前津 ー江戸から昭和ー	2006 年	800 円
『特別展』からくり ー見る、作る、遊ぶー	2007 年	600 円
(企画展) 小栗鉄次郎 ー戦火から国宝を守った男ー	2009 年	700 円
『特別展』妙心寺 ー禅の心と美ー	2009 年	2,000 円
『特別展』名古屋400年のあゆみ	2010 年	1,500 円
『特別展』変革のとき 桃山	2010 年	2,200 円

出 版 物 名	刊行年	販売価格
(企画展) 名古屋タイムズの見た名古屋	2010 年	200 円
『特別展』 古代メキシコ オルメカ文明展	2011 年	2,000 円
『特別展』 狂言でござる	2011 年	1,300 円
『特別展』 芭蕉ー広がる世界、深まる心ー	2012 年	2,000 円
『特別展』 驚きの博物館コレクション	2013 年	1,000 円
『特別展』 マジックの時間 公式ガイドブック	2013 年	500 円
『特別展』 三英傑と名古屋	2014 年	1,200 円
『特別展』 感じる縄文時代	2014 年	600 円
『特別展』 いつだって猫展(初版)	2015 年	2,200 円
『特別展』 名古屋めしのもと	2015 年	1,500 円
(企画展) 採録 名古屋の衣生活	2017 年	1,000 円
『特別展』 北斎だるせん！	2017 年	2,200 円
『特別展』 海たび	2018 年	1,500 円
『特別展』 画僧 月僊	2018 年	2,000 円
(企画展) 書で集う	2019 年	900 円
『特別展』 治水・震災・伊勢湾台風	2019 年	2,000 円
台風記 (「治水・震災・伊勢湾台風」作文集)	2019 年	1,800 円
尾張の城と城下町 (「発掘された日本列島2019」地域展ガイドブック)	2019 年	1,000 円
『特別展』 模様を着る	2020 年	2,300 円
(企画展) なごやのうつりかわり	2021 年	500 円
資料図版目録・館蔵品目録		
館蔵品図録Ⅰ	1982 年	1,000 円
館蔵品図録Ⅱ	1987 年	1,000 円
館蔵品百選	1997 年	1,000 円
館蔵品目録 第2分冊	1997 年	1,200 円
館蔵品目録 第4分冊	2000 年	800 円
資料図版目録3 「尾張の俳諧」	2002 年	900 円
資料図版目録4 「くらしのうつりかわり」	2003 年	600 円
資料図版目録5 「愛知の縄文遺跡」	2004 年	1,000 円
資料図版目録6 「尾崎久弥浮世絵コレクション 歌川国貞」	2005 年	900 円
資料図版目録7 「大和古瓦図版目録」	2006 年	700 円
資料図版目録9 「尾張のやきもの」	2013 年	700 円
資料図版目録10 「横井庄一生活資料」	2015 年	700 円
調査研究報告・博物館資料叢書		
博物館資料叢書1 三寶繪	1989 年	3,000 円
調査研究報告Ⅲ 明治期博覧会出品七宝工総覧	1996 年	500 円
調査研究報告Ⅴ 宝玉七宝	2000 年	800 円
調査報告 重要文化財 甚目寺愛染明王坐像	2012 年	1,200 円
幕末 城下町名古屋復元マップ	2013 年	500 円
名古屋城下お調べ帳(冊子)	2013 年	1,000 円
研究紀要		
名古屋市博物館研究紀要 第15巻	1992 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第16巻	1993 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第17巻	1994 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第21巻	1998 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第22巻	1999 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第24巻	2001 年	900 円
名古屋市博物館研究紀要 第25巻	2002 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第26巻	2003 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第27巻	2004 年	600 円

出 版 物 名	刊行年	販売価格
名古屋市博物館研究紀要 第29巻	2006 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第30巻	2007 年	900 円
名古屋市博物館研究紀要 第31巻	2008 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第32巻	2009 年	600 円
名古屋市博物館研究紀要 第33巻	2010 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第34巻	2011 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第35巻	2012 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第36巻	2013 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第37巻	2014 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第38巻	2015 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第39巻	2016 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第40巻	2017 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第41巻	2018 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第42巻	2019 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第43巻	2020 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第44巻	2021 年	700 円

名古屋市博物館 年報 No.44

(令和 2 年度)

発行日 令和 3 年 8 月 1 日

編 集 名古屋市博物館
発 行

名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1

TEL 052 (853) 2655

FAX 052 (853) 3636